



四万十



小京都

5月3日、第21回土佐一條公家行列「藤祭り」が行われました。

一條神社が建立されてから150年になる今年は、県外からの申込者も多く、過去最多の190人が参加。色鮮やかで雅な衣装に身を包んだ行列が、まちなかを練り歩きました。

中村は小京都のシンボルであり、8月の市民大学では「小京都とは何か」を考える講座を開くほか、11月の「いちじょこさん」には、全国の小京都が一堂に集う全国京都会議を開催します。

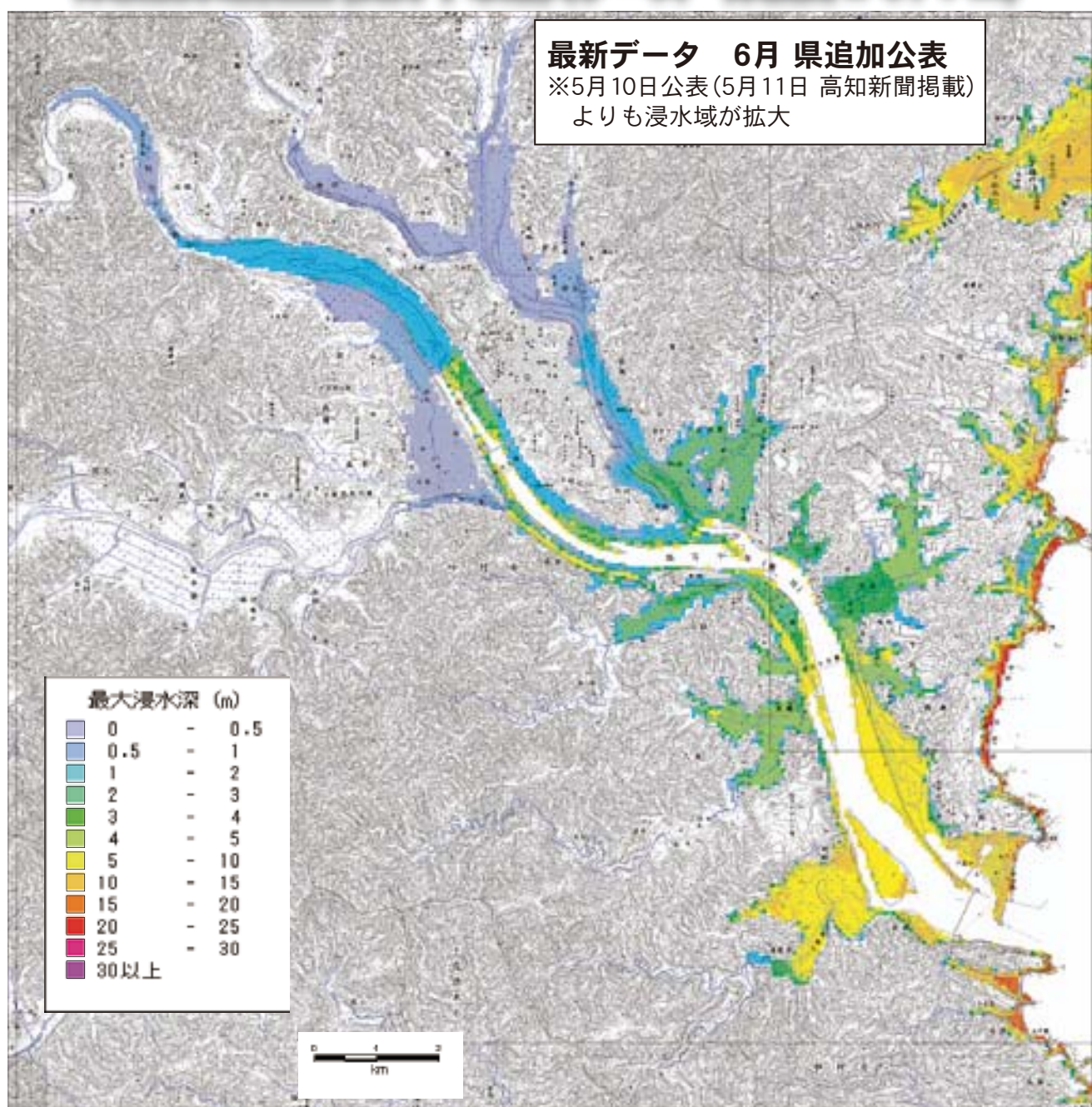
今月の主な内容

Contents

- | | |
|------------------------------------|----|
| ▶ 南海トラフ巨大地震 津波浸水想定図 | 2 |
| ▶ 幡多広域南海地震対策連絡協議会 設立 | 3 |
| ▶ 健康・福祉地域推進事業 敷地地区が活動開始 | 5 |
| ▶ 特別寄稿 千年震災の津波対策 | 6 |
| ▶ ふるさと応援団1000人
ふるさと納税1000万円 超える | 8 |
| ▶ 市民表彰の候補者 募集します | 10 |

南海トラフ巨大地震

津波浸水想定図(四万十市最大ケース 津波高26.7m)



※6月の追加公表について

5月10日の第1回県公表は、推計作業にかかる時間的制約もあって、内閣府が公表をしたデータで県下大半の市町村に該当をするケースに基づいたものでした。四万十市は最大津波高26.7mですが、23.1mのケースでの推計公表となっていましたので、6月に県より上記予想図が追加公表されたものです。

※上記想定図のポイント

1. 5月10日の公表(5.11高知新聞掲載)よりも津波の浸水域が拡大しています。前回よりも具同(渡川・中組など)、岩田地区等において、浸水予想地域が拡大をしているほか、海岸部での津波高が高く(20m~25mの表示の赤色が濃く)なっています。
2. 四万十川本流は、河口から上流13キロ(入田柳林付近、国の直轄流域)までは、川として河床高・流量・流速が算定に加味され、津波の河川遡上が推計されていますが、その上流域および、支流の中筋川、後川については、地面(川でない)として見えています。
3. また、この推計は50mメッシュ(50m四方の平均高度)で、「最終防潮施設等なし」の前提になっており、四万十川の堤防や水門の機能はないものとして、推計をされています。今年秋には10mメッシュでの推計が県から公表される予定となっていますので、より正確なデータをお知らせすることができると考えています。

津波浸水想定図(右図)について

右の浸水想定図は、高知県が6月に追加発表をした、最新データによるものです。

地図の下欄のコメントをよく読んでください。

コメントにもあるように、この想定図は、3月31日内閣府が発表をしたデータ(本市最大津波高26・7m)に基づき、県が独自に推計をしたものですが、データの精度がまだ十分でないため、あくまで大まかな目安として、考えてください。

今年の秋には、さらに精度の高いデータが示されることになっています。

市では市政の目標である「いのちを守るー安心・安全な四万十市をめざして」に基づき、今回のデータも考慮しながら、今年度も津波避難計画の見直しを行うなど、市民の皆さんとともに考え、地域の実情にあった地震津波対策を推進していきます。

【問い合わせ先】

(市)総務課 防災対策係

☎(35)2044

幡多広域南海地震対策 連絡協議会を設立

南海トラフ巨大地震の発生に備え、幡多広域内の6市町村で組織する「幡多広域南海地震対策連絡協議会」(会長・四万十市長)を5月28日に設立しました。

この協議会は、国、県、消防もオブザーバーとして加え、地震・津波に関する情報を共有するとともに、広域での対応を協議、検討する場として県下では初めて組織され、幡多地域の市町村が抱える課題等を広域的視点で解決していくものです。

本協議会の設立にあわせ、今後は民組織として「幡多地区自主防災会連絡協議会(仮称)」の設立も働きかけ、民と官が連携した広域的組織づくりを行っていきます。



幡多は一つ

左から杉村・土佐清水市長、杉本・三原市長、田中・四万十市長、
沖本・宿毛市長、岡田・大月副町長、大西・黒潮町長

(四万十市役所)

津波避難計画策定を急ぐ

市では、昨年度より津波避難計画の見直しを行っています。この計画を実効性あるものとするため、津波被害が予測される地区を対象にワークショップ(計画づくりの共同作業)を行っています。

これまで竹島・松ノ山・下田・串江地区で開いており、区長や自主防災会、学校・保育所の職員、PTA、消防団員など地域の皆さんに参加いただき、津波浸水予測区域を踏まえて、避難場所の高さは十分か、避難路は安全か、実際に現地も見ながら問題点はないか、津波避難の課題を洗い出しています。

今後7月上旬までに下田、八束の各地区で作業を行い、本年度中には津波避難計画を策定することとしています。



5月27日 松ノ山・下田・串江地区 約40人参加

国の出先機関存続を求めて 区長会が政府に署名を提出

中村地域区長会と西土佐地域区長連絡協議会で取りまとめた「国の出先機関の存続」四国横断自動車道の早期完成」で万全な防災対策を図ることへの要望について、中村地域14、145名、西土佐地域1、985名の合計16、130名もの多数の署名が集まりました。

この署名を持参し、中村地域区長会、西土佐地域区長連絡協議会、四万十市および四万十市議会は、4月12日に国土交通省四国地方整備局へ、5月1日に高知県知事へ、5月7日、8日には内閣府、国土交通省、民主党および高知県選出国會議員に対し、要望を行いました。

国の出先機関存続に対する住民の署名の提出は、全国的にもはじめてのことで、出先機関の見直しについては、自治体との協議や地域の意見を重んじ、進めていただくことを確認し、四国横断自動車道(8の字ルート)についても国が整備を進めていく必要があることを要望しました。

また幡多市町村圏事務組合による、国土交通省の出先機関存続の要望もあわせて行いました。

■中村、西土佐地域区長会長のコメント

区長会の取り組みに16、130名もの署名をいただき、本当に感謝しております。地域住民を代表して国に強く要望をしてきました。引き続き区長会の活動にご協力をお願いします。



民主党陳情要請対応本部
樽床本部長代行への要望



内閣府地域主権戦略室
望月次長への要望



国土交通省
吉田副大臣への要望

【問い合わせ先】区長会事務局(本庁総務課)
(総合支所地域企画課)

☎(34) 1804
☎(52) 1111

四国西南サミット 道路整備・観光・防災で連携

5月21日(月)、四国西南サミットが愛媛県八幡浜市で開催されました。

サミットには、市長、議長が出席し、四国8字高速交通ネットワークの整備、観光や防災などで一体となった取り組みを行うことを確認し、宣言を採択しました。

このサミットは、四国西南地域が共通する重要な行政課題に連携して取り組もうとするもので、昨年、愛媛県南予地域4市3町と高知県幡多地域の3市2町1村に組織を拡大しました。

そして今年は、さらに愛媛県内子町が加入し、あわせて14市町村となったことから、改めて災害時相互応援協定の締結も行いました。

また、田中市長が、宿毛・八幡浜両フェリーの連携強化を図り、九州をターゲットとした観光客誘致に向けた取り組みを提案し、賛同を得ました。

午後からは、愛媛大学防災情報研究センター長の矢田部龍一教授と、消防長として東日本大震災で指揮を執られた福島県双葉地方広域市町村圏組合消防本部の秋元正元消防長の講演を受け、意見交換も行いました。



健康・福祉地域推進事業 敷地地区が活動開始

市では、今年度から、「健康で安心して暮らすことのできる地域づくり」を地域と協働で推進していく「健康・福祉地域推進事業」を実施しています。

この事業は、「健康づくり」、「介護予防」、「支えあい」の各種事業を地域で組織する「地区健康福祉委員会」に委託（中村地区の一部は社会福祉協議会に委託）し実施してもらうこととしており、これまでに、市内80地区で受け皿となる委員会が設立され、それぞれ取り組まれているところです。

5月27日（日）には、健康づくり事業の取組として、敷地地区健康福祉委員会主催によるグラウンドゴルフ大会が田野川小学校で行われました。

健康づくり事業は、地域の方々の健康を把握することや健康を維持するための軽い運動や世代間交流等により地域全体の健康を増進させようとするものでもあり、当日は、小中学生8人と老人クラブや児童の保護者らあわせて30人が参加しました。

はじめに老人クラブの尾崎 全さんから、ルール説明やクラブの使い方などの指導を受けたあと、4班に分かれ、15メートルから50メートルで設定された8コースでスコアを競いました。

五月晴れのなか約1時間、心地よい汗を流したあとは、木陰でお茶などを飲みながらの雑談です。「やってみたら案外おもしろい」「やっぱり普段から動かないかん」など、運動することの楽

しさ、大切さをあらためて実感されていたようです。

当委員会健康づくり推進委員の武田 雅夫さんは、「はじめての企画で反省点も多いが、今後も男女対抗や世代間対抗など工夫をこらしながら定期的に開催していきたい。そして、こうしたふれ合いを通じて、子どもたちからお年寄りまで、みんなが健康で楽しく暮らせる地域にしたい」と抱負を語ってくれました。

当事業のご不明な点等については、左記までお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

（市）保健介護課（健康福祉担当）
☎（34）1165



子どもたちと一緒にグラウンド・ゴルフ

地域集落再生事業 口屋内集落でもスタート！

平成22年度から西土佐地域の中組集落で行われている地域集落再生事業ですが、今年度から口屋内でも新たに取組むことになり、その一つとして、高知大学と第1回目の連携事業を、5月26日（土）と27日（日）の2日間行いました。

1日目の午後には親水公園の草刈りを行いました。集落の人が手際良く草を刈り取り、参加した5人の学生たちがそれを運びました。作業の合間に集落の人と言葉を交わしながら、約3時間半、公園の整備を行いました。きれいなった親水公園を眺めながら飲むお茶の味は、格別でした。

2日目の午前中は、集落内の散策をしました。集落のガイドの案内で学生は徒歩で口屋内の良いところ（地域資源）を探しました。

午後は

「口屋内のこれから」を考えるための話し合いです。旧小学校の図書室に集落の人が12人集まり、学生も交えて3班に分か



刈った草を集めて運ぶのも大変！

れてのワークショップを行いました。

口屋内に初めて来た学生の感想や魅力を集落の人が聞いた、「他にもこんないいところがあるよ」という集落の方からの意見を学生が聞いたりしました。



口屋内を盛り上げていく方法は？

「この口屋内を散歩（散策）するだけでも楽しい」といった学生の意見をもとに、「口屋内の散策コースを作ってみては」といった提案や、「口屋内を盛り上げるプラン」を考える班もあり、図書室には賑やかな声が飛び交いました。

今年度の口屋内集落と高知大学との大学連携事業はあわせて3回を予定しています。

今回の話し合いで出た意見も参考にしながら、口屋内集落の地域活性化について、今後も取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

（総合支所）地域企画課 地域振興係
☎（52）1111

特別寄稿

千年震災の津波対策



つじ よしのぶ
都司 嘉宣
建築研究所
特別客員研究員

■ミレニアム津波の発生

2011年3月11日に起きた東日本大震災によって、約1万9千人の死者行方不明者を生じたが、その大部分は津波による犠牲者であった。

今回の震災は、平安時代の初めの貞観11(869)年の陸奥(むつ)国の地震津波以来の1142年ぶりの巨大地震であった。

東日本震災と貞観地震の津波の規模がほぼ同じであったことは、津波が多賀城下に達したこと、地質学的に検証された津波の浸水範囲が、両津波でほぼ一致すること、地震津波被害が関東地方にまで及んだことなどの共通点があることから、そう判断されるのである。

今回の東日本大震災の発生以後、このような、千年一度程度の頻度で起きる超巨大な地震・津波は「ミレニアム津波」と呼ばれるようになった。

■津波対策の2つの基準

これまで、三陸地方を始め、東海地方、紀伊半島、四国などで、将来の津波対策として防潮堤の建設、ハザードマップの作成などが行われてきたが、そのさい津波の想定高さは、およそ近代の200年間に起きた最大の津波の高さのデータが用いられてきた。しかし、東日本震災の津波はこの想定高さはるかに越えるものであった。このために、多くの津波による犠牲者を生じる

こととなったのである。

今回の津波では、三陸海岸では浸水高が20mを越えた場所が数多くあった。このようなミレニアム津波に対して高い防潮堤を作つて防ぐことは事実上不可能である。これに対しては、人命が生き残る事、原発事故を起こさないことの2つだけを考えることにし、家屋や漁業施設など財産被害には眼をつむらざるを得ない。

つまり、今後の津波対策には、①200年に一度の津波に対する対策と、②1000年に一度のミレニアム津波に対する対策を分けて考えるべきである、ということになる。

■東日本震災津波の死者の多発地点

今回の東日本震災では、1地点で集中的に死者の出た場所がいくつかある。その1地点、1地点について、なぜそこで多数の死者がでたのか? どうなつていれば、大勢の死者を出さずにすんだのかをしっかりと見極めることは、将来の千年震災に対する対策を考える上で大きなヒントになるであろう。

(1)宮城県石巻市大川小学校の被災

大川小学校は、北上川の河口から約5キロさかのぼった地点の南岸の平野にある。小学校は標高2.5mほどに過ぎず、今回の津波では2階建て校舎の2階の天井まで浸水した。

本震の大きな揺れを感じ、津波警報の発令の直後、先生方が108人の全校生徒を校舎から校庭に出させたのは正しかった。しかし、ここで先生方はこの生徒たちを標高約6mの北上川にかかる新北上大橋のほうに避難させてしまった。しかし、津波はまさに北上川の方からやってきて、生徒たちは列の前の方から次々と津波に吞まれていき、結局全生徒の7割に当たる74人がここで溺死するという痛ましい事故となつた。

ここで大川小学校周辺の地図を見ておこう。生徒たちを学校の裏の丘に登るように誘導すれば、能率よく高い標高の安全な場所に移動させることができたはず

であるのに、なぜそうしなかったのか? この理由は、筆者が現地を訪ねてみると簡単に理解することができた。図2は大川小学校の背後の斜面の写真である。

写真でわかるように、この斜面はほぼ45度の傾斜で、踏み跡のような道もない、登るのに非常に困難な斜面である。津波によつて海水が到達した地点に標識が建てられているが、斜面の下端の小学校の敷地からここまで約7m、すなわち大人の身長5倍ほどある。小学1年生を含む108人の生徒をこの斜面を登らせるのは不可能と判断されたのは無理はなかった。

では、どうなつ

ていればよかったのだろう? 答えは簡単である。この斜面にハイキングコースのようなジグザグにゆつくり高いところまであがれる道をつつておけばよかったのである。そうすれば、78人の生徒と10人の先生の命を失うことはなかったのだ。

△注:市防災対策係▽

大川小学校の位置は四十万川でいえば、八束小学校、同保育所の位置に酷似している。



図1 大川小学校付近の地図



図2 大川小学校背後の斜面

(2) 宮城県気仙沼市杉ノ下高台の被災

こんどは津波の指定避難場所となっていた、気仙沼湾の入り口にある杉ノ下高台の津波被災の状況を見ておこう。図3は、その高台の地図である。

およそ頂上の標高は12mあまりの小高い丘をなしているため、この周囲の平野にある住宅の人たちにとって、津波の避難場所として適していると考えられたのであろう。今回の津波でも数十人の人たちがここに避難したという。

ところが今回の津波はこの高台の頂上まで完全に呑み込み、その頂上の上約2mまで冠水したと推定される。そのため、この高台に避難した人の過半数の54人が、ここで溺死するという痛ましい被害を生じた。では、どうなっていたら、この犠牲者を出さなくてすんだのであろうか？ ミレニアム津波に対しては、この標高は不足であると判断して、ここを津波避難場所としない、というのも一つの対策である。

しかし、もしここに自転車小屋程度の建物があつて、中に100人分ほどの救命胴衣が備えられていたら？ 皆さんも、飛行機やフェリーに乗るとき、救命胴衣が備えられていることの説明を受けるでしょう。また、趣味で釣りをする人が釣り船に乗るときには、救命胴衣を着けるでしょう。なぜ？ 緊急時に海に投げ出されたとき、命を守るためである。

ではなぜ、津波避難場所と指定されたところに、救命胴衣は今までなかったのでしょうか？ これではダメである。ミレニアム津波の避難場所には、その場所の標高を超えて、海水面があがってくる可能性があること考慮に入れて、そこに避難してきた人のために救命胴衣を貯蔵した小屋を造つておく、これが今後ミレニアム津波に対する防災対策の必須事項としなくてはならないだろう。高い防波堤を築く費用に比べたら微々たる費用ですむ事である。



図3 杉ノ下高台付近の地図



図4 被災後の杉ノ下高台

筆者略歴

昭和45年 東京大学工学部卒業
元東京大学地震研究所准教授
研究分野は歴史地震学、津波探知、高潮。
昨年、本市の防災講演会と市民大学の
講師を務めた。
四万十市ふるさと応援団員

図書館 新着図書紹介

都司嘉宣著

「歴史地震の話」

「語り継がれた南海地震」

本書は平成15年から今年まで続いた高知新聞連載を、このほど1冊にまとめたもの。

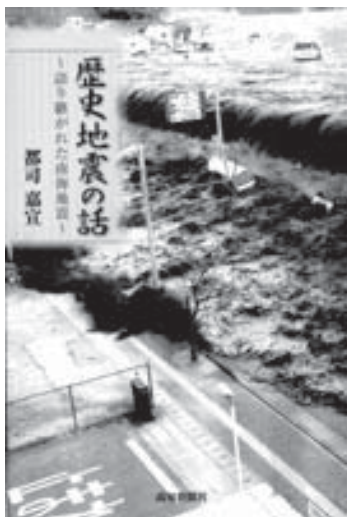
「歴史地震」とは、地震計などの機械観測が始まる明治20年ごろより以前の地震のことで、人が書き残した古文書などが調査データになる。

著者は県内各地を隈なく歩き、古い記録や伝承の中に、南海地震が約100年毎に発生をしているメカニズムを論証しており、数字データ以上の説得力がある。

直近3回の南海地震の規模としては、宝永地震(1707年)は「特大」、安政南海地震(1854年)は「標準」、昭和南海地震(1946年)は「小粒」であったとみている。

宝永地震の被害をまとめた土佐藩士奥宮正明「谷陵記」は、市内の被災状況を「下田、亡所、塩は山迄、山際に屋具ばかり残る。初崎、潮は山迄、一木一草残りなし」と記している。

宝永地震は今回の東日本震災と同規模の「千年震災」(千年に一度)であった。次の南海地震も宝永地震級の規模になることを想定しておく必要があると、警告している。



(307ページ、高知新聞社)

四万十市ふるさと応援団
1000人
ふるさと納税(応援寄附金)
1000万円
超える

平成22年8月から市外在住者を対象に募集を開始した四万十市ふるさと応援団には、5月30日までに全国から1020人もの方々に加入していただきました。団員の大半は本市出身者ではなく、観光やイベントなどで本市を訪れたことがある方や、本市の自然、歴史、文化に関心のある四万十ファンの方々です。

市からは、最新情報を随時インターネットでお送りしており、団員の皆さんにはそれをご友人などにPRしていただくほか、本市への提案、アイデアなどをいただくなど、双方向で色々なやり取りを行うなかで、市政への多面的な支援をいただいています。

今後もさらに、サポーターの輪を広げてまいります。市民の皆さまには、市外にお住まいのご親戚やご友人へのお呼びかけをよろしく願っています。

また、平成20年10月に制度を開始したふるさと納税(応援寄附金)には、全国の皆さまからたくさんのご寄附や応援メッセージが寄せられており、おかげさまで平成24年5月30日までの累計は、201件、10,139,290円となりました。

温かいご支援に対して、厚くお礼申し上げます。いただいたご寄附は、「四万十市ふるさと応援基金」にいったん積み立てたあと、活力あるまちづくりのために大切に活用させていただきます。

※5月30日現在

◆ふるさと応援団 地域別内訳

地 域	人数(うち市出身者)	比 率(%)
北海道	13(2)	1.3
東北	13(0)	1.3
関東	231(54)	22.6
中部	57(9)	5.6
関西	489(51)	47.9
中国	47(1)	4.6
四国	107(27)	10.5
[うち県内]	[51(17)]	[5.0]
九州・沖縄	53(2)	5.2
海外	10(5)	1.0
計	1020(151)	100.0

※5月30日現在

◆ふるさと納税 年度別内訳

年度	件数	金額(円)
20年	6	280,000
21年	7	1,740,000
22年	44	2,639,000
23年	135	4,990,290
24年	9	490,000
(4/1~5/30)		
計	201	10,139,290

◆平成23年度までの活用実績

平成23年度において、寄附金(市長にお任せ)の一部を次の事業に活用させていただきました。

◎庁舎玄関改修事業

(活用額2,245千円)

当事業は、ふるさと応援寄附金のほか、四万十口一タリークラブ寄附金を活用しています。

◆平成24年度の活用計画

平成24年度の当初予算では、事業の種類(使途)ごとに分けた6つの事業に総額4,414千円を活用させていただくこととしています。

事業の種類(使途)	事業名	活用予定額
環境と景観を守る事業	住宅用太陽光発電システム設置費補助	1,221千円
人(高齢者、子どもなど)を守り育む事業	健康・福祉地域推進事業	1,024千円
産業を守り育む事業	地場産材利用促進事業	71千円
イベントを守り育む事業	映像の幡多上映会	54千円
災害から守る事業	津波避難マップ作成	44千円
市長にお任せ	西土佐天体観測施設改修	2,000千円



市役所庁舎玄関改修



西土佐天体観測施設

【問い合わせ先】(市)企画広報課 ☎(34)1810

関東幡多四万十会

市長 田中 全

頼もしい会がついに結成されます。

関東幡多四万十会の第1回総会(懇親会)が、6月30日(土)正午から、東京「五反田ゆうぽうと」で開かれます。もちろん私も出席します。

ふるさととは遠きにありておもうもの
この会は、関東に在住する本市出身者の並々ならぬ、ふるさとへの熱い想いが結集したものです。

私がこの会結成の中心メンバーに初めて会ったのは3年前。平成21年11月、「関東高知県人大懇親会」の席でした。

東京での県人会には毎年、知事や多くの市町村長が出席するのが恒例となっており、ふるさとを離れた方々との貴重な交流の場となっています。

私は市長になった直後でしたので、あいさつを兼ねて出席をしたのですが、市出身者から、うちの市長が県人会に来てくれたのは初めてと、大歓迎をされました。そして酒を酌み交わすなかで、東京には県下市町村出身者の会(集まり)がたくさんあるが、うちにはまだないので、肩身の狭い思いをしている。いずれつくりたい、との話がありました。

私自身、長く地元を離れていたもので、

この気持ちはよくわかります。地元にくずくずといる者以上に、離れている人間のほうが、ふるさとのことが気にかかり、大切に思うものです。

私は市長公約の一つに、「四万十大好き人間との情報発信交流」を掲げていました。この話をきき、確信を得ましたので、平成22年度に「四万十市ふるさと応援団制度」をつくり、団員募集を始めました。関東における市出身者の会の結成準備は、これと軌を一にしていました。



関東幡多四万十会世話人のみなさんと(3月10日)

今年3月10日、東京新橋で会の世話人会が開かれました。案内を受け、私と藤田豊作市議会議員が出席。その席で、会則と役員体制が決まりました。

会長・中野正三、副会長・久禮孝博、幹事長・山崎進一、事務局長・平田一郎、会計・長崎千代、監査役・夕部一、以下幹事・今城千皓、岡村大、笹岡睦男、佐藤正子、

宮崎光生、山沖容子。計12名で、私は名前だけの顧問になりました。

会の名前に、「中村」を入れるべきとの熱い意見も出ましたが、広く幡多出身者や、四万十を応援する者は誰でも歓迎をするということになり、「関東幡多四万十会」に決定。また、会の目的も「会員の親睦」に加えて「四万十市の発展に資する」に、うれしいことです。

四万十市ふるさと応援団は全国から募集をしていることが関東幡多四万十会と異なりますが、その目的は同じであり(役員12名は全員ふるさと応援団にも入団)、今後連携をして四万十市を支えるネットワークを広げていくことになりました。

「応援団」は、昨年12月、大阪で関西交流会を開きました。

関東在住の応援団員は、現在約230人いますので、関東交流会は「交流会in東京」と位置付けて、「四万十会」の総会(懇親会)に合流を呼びかけています。

「四万十会事務局では、中村高校と幡多農高の同窓会東京支部の協力を得て、同窓会名簿に載っている関東在住の卒業生全員(中村高約900人、幡多農約200人)に案内状を出しました。

市民のみなさんからも、関東在住のご家族、ご親戚、ご友人にぜひ情報を伝えてくださいますよう、お願いをいたします。

6月30日、どれだけの輪が広がるか楽しみです。

日誌 4月16日～5月15日

4月16日	国際交流員辞令交付式 市民憲章推進協議会総会 臨時市議会
18日	J A高知はた中村支所女性部総会
19日	高知県市長会議(安芸市)
20日	安芸市観光協会訪問(同)
21日	高知大学医学部訪問(南国市)
23日	四万十川ラジオコン水上げフェスタ
24日	西土佐地域審議会との意見交換会
25日	西土佐地域区長会、松野町長との懇談
26日	日赤社資四万十市地区目標額設定会議
27日	西土佐小組合長会 民生委員児童委員協議会総会 西富山区長会要望受 老人クラブ連合会要望受 中村地域自主防災会連絡会議 西土佐小学校開校式 知事への区長会要望(高知市)
29日	NHK松山局取材受、四万十町長との懇談 土佐一條公家行列入「藤祭り」 堂ヶ森地蔵祭り
3日	内閣府・国土交通省・国会議員へ区長 会要望(東京)(8日)
5日	地元選出国会議員との意見交換会(同)
7日	国道441号道路整備促進期成同盟会 横瀬川ダム建設促進期成同盟会国会議 員要望(同)
8日	津波浸水予測幡多土木事務所長協議 社会を明るくする運動実行委員会 高知大学副学長との懇談 ねりんヒック市実行委員会設立総会 人権擁護委員協議会 消防団員内助功労者表彰式
9日	四国地方郵便局長会ソフトボール大会
10日	大崎朗氏消防庁長官表彰受章祝賀会 相良高知大学学長退任記念祝賀会高知市 市民側溝清掃土砂収集運搬作業出発式 津波浸水予測県危機管理副部長協議 県林業振興環境部長との意見交換
11日	
12日	
13日	
14日	
15日	

市民表彰の候補者募集します

市では、新市発足以来2回目となる市民表彰を実施します。左記の要領で表彰候補者を募集しますので、推薦をお願いします。

■表彰の種類および選考基準等

功労賞	個人 もしくは 団体	本市の政治、産業、経済の振興または文化の向上に著しい貢献をした人もしくは団体
善行賞	個人 もしくは 団体	①本市の公益事業に尽力し、または公務を助力しその成績顕著な人もしくは団体 ②一般市民の模範となるような善行をした人もしくは団体
市民賞	個人	①市民から深い親近感を持たれている人 ②個人、家庭人、社会人として市民から人間的尊敬と感謝の念を持たれている人 ③人生の起伏を強い意志と努力によって克服してきた人

※市民賞については、市民各層から構成する「市民賞選考委員会」での選考結果により決定します。

(注)合併前の旧市村および合併後の表彰条例の規定により、同様の表彰を既に受けた人は対象となりません。

■推薦方法 所定の推薦書等の書類に必要事項を記載のうえ提出してください。
※書類は本庁1階総合案内、3階企画広報課秘書係、西土佐総合支所窓口に備えていています。

■提出期限 7月31日(火)
■表彰日(予定) 12月23日(日)

【問い合わせ・提出先】

(市)企画広報課 秘書広報室 秘書係

☎(34)1111 内線2301・2302

住宅の耐震化補助します

市では、住宅の耐震化に要する費用について補助金を交付しています。対象となる住宅は昭和56年5月31日までに着工された住宅で、構造(平屋、2階建てなど)は問いません。この事業は、診断↓設計↓改修(工事)の順に実施します。木造以外の住宅(鉄骨造、混構造など)も対象になっています。現在、引き続き募集を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

5月末現在の 受付可能枠数		補助対象要件		補助額	概要
非木造	木造	②県に登録している耐震診断士が診断を行うこと。	①昭和56年5月31日までに着工された住宅	1戸あたり上限3万円	住宅耐震診断費補助事業
	10件			補助率2/3 1戸あたり上限20万円	住宅耐震設計費補助事業
	4件			1戸あたり上限90万円	住宅耐震改修費補助事業
木造	36件	②県に登録している設計事務所に所属する耐震診断士が耐震改修設計を行うこと。	①市補助事業による耐震診断の結果、「倒壊の可能性があると診断された住宅」		市の補助事業による耐震診断の結果、「倒壊の可能性がある」と診断された住宅を「一応安全なレベル」にする耐震改修工事に対して補助します。
	12件				
	18件				
非木造	4件	③耐震改修工事後「一応安全なレベル」となる耐震改修設計であること。	②県に登録している工務店が耐震改修工事を行い、住宅の所有者が選任した耐震診断士が耐震改修工事の現場確認等を実施するもの。		
	12件				
	18件				

※「一応安全なレベル」とは、耐震診断士による精密診断法や構造設計一級建築士等の診断により、安全性が確認されるものです。

申し込みが右表の受付可能枠数に達した場合は、募集を終了しますので、あらかじめご了承ください。

受付時間 8時30分〜17時15分(土、日、祝日を除く)

【問い合わせ・申し込み先】(市)総務課 防災対策係

☎(35)2044

雇用創造促進協議会契約職員 募集

市では平成24年7月から、最長平成27年3月まで（予定）、「豊かな自然・豊かな資源・豊かな人材が融合するまち 四万十」をテーマとして、実践型地域雇用創造事業を実施します。事業の主な内容である「農商工連携」や「6次産業化」による商品開発および地域特産品づくりや、販路開拓のノウハウを学ぶためのセミナーの企画・運営や、その学んだノウハウを実践していく契約職員を左記のとおり募集します。

■募集期間 6月15日（金）17時までに必着のこと
履歴書等を郵送または持参してください。

■募集人員 履歴書にどの職種を希望するかを明記してください。

●事務局長（1人）……協議会の業務総括。開催するセミナーや就職面接会の企画運営や事業全体の進捗管理。業務を総括し関係機関へ報告する。

●事業推進員 経理担当（1人）……協議会の経理を主に担当するほか、事務局長の補佐。

●事業推進員（1人）……協議会の講座等企画運営に関することや事務局長の補佐。

●実践支援員 リーダー（1人）……協議会での商品開発等や地域内企業との連携および調整役。販路開拓やフードビジネス系の展示会への出展企画、9月から雇用予定の実践支援員3人のまとめ役。

●実践支援員 サブリーダー（1人）……協議会の商品開発等、リーダーと協力して事業運営および9月から雇用予定の実践支援員3人のまとめ役の補佐。

■契約期間 平成24年7月1日～平成27年3月31日（予定）

■待遇 （勤務時間）8時30分～17時15分（繁忙期は残業あり）
（休日）土・日・祝日等（繁忙期は勤務あり）
※就業規則による日数の有給休暇あり

（賃金）事務局長 ……月額26万円
事業推進員経理担当 ……月額21万円
事業推進員 ……月額18万円
実践支援員リーダー ……月額24万円
実践支援員サブリーダー ……月額21万円
（各種保険等）健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、通勤手当、残業手当

■選考方法 1次選考…履歴書により選考します。
2次選考…1次選考合格者に連絡の上、個別面接により決定します。

【問い合わせおよび履歴書等提出先】

787-8501 四万十市中村大橋通4-10（市）商工課 ☎（34）1126

チャレンジショップ出店者 募集

天神橋商店街では、空き店舗で一定期間お店を開業して経営のノウハウ等を習得してもらう「チャレンジショップ」の出店者を募集しています。

■店舗の所在地 中村天神橋54

■募集店舗数 2店舗

（募集店舗数に達すれば、お断りする場合があります）

■店舗面積等

1店舗あたり6～7坪程度

①契約期間終了後、独立して天神橋商店街に新規開業する意欲のある人

②新規開業となる人、または現在の業種・業態の転換を図ろうと考えている人

③出店前および出店期間中の講習会や運営会議などに参加できる人

④原則として小売業を行う人

10時～19時（定休日：水曜日）

6ヶ月間を契約期間とし再選考の上更新。

原則として最長1年間を予定。

店舗使用料…月額6千円～8千円

（管理費・水道光熱費・共益費を含む）

組合費…月額2千円

契約時に1ヶ月の店舗使用料を預り保証金としてもらうけます。

出店者の選考は書類審査の上、面接によって行います

■選考方法

■預り保証金

【問い合わせ先】

天神橋商店街振興組合（担当 田中・深瀬） ☎（35）2019

市民側溝清掃

ご協力ありがとうございました

5月13日(日)、中村地域の指定の地区で、市民側溝清掃を行いました。

この清掃は、四万十市民憲章推進協議会、四万十市、市民の皆さんが協働で、悪臭防止・病害虫の発生抑制・排水対策等を目的に、旧中村市時代から実施しており、今年で44回目になります。

市民の皆さんによって側溝から上げられた土砂等は、翌日の月曜日に四万十市民憲章推進協議会会員および市職員が回収しました。

市民側溝清掃に協力していただいた皆さん、大変ありがとうございました。

今後四万十市の環境美化活動にご協力をお願いします。



回収した土砂の量はダンプ57台分になりました

【協力団体】

建設協会(大和建設(株)、中山興業(株)、福原建設(株)、豚座建設(株)、(有)石井建設、松倉建設工業(株)、(有)刈谷土木、植田興業(株)、(株)金沢建設、(株)ダイリン、(株)田辺豊建設、(有)渡辺土木、中脇建設(有)、(有)杉原建設、明星建設(有)、建築協会(弘田建築、長者工務店)、JA高知はた農業協同組合、中村市森林組合、社会福祉協議会、公園管理公社、中村河川国道事務所、中村警察署、幡多福祉保健所、幡多土木事務所、四万十市議会

家庭ごみの出し方について

ごみ袋は口をしっかりと結んで出してください

4月から四万十市指定ごみ袋が、従来の長方形型の在庫が無くなり次第、レジ袋型にかわっています。

3月広報でもお知らせしましたが、新しいごみ袋には取っ手がついていますので、必ず袋の口をしつかりと結んで出すようお願いします。

※袋の口をガムテープで貼らないでください。

袋の口をガムテープで貼っていると、回収するときに両手で持ったり抱えたりしなければならなくなり、作業員が袋の中にある突起物等だけがをすることがあります。また、作業効率も下がります。袋の口を結んでいると、口の結び目を持って運べるので、運びやすく安全です。皆さまのご協力をお願いします。



リサイクルできる古着・古布の出し方

家庭から出る古着・古布は指定場所で回収しています。回収された古着のほとんどは中古衣料として国内外で再利用されています。不用となった服や毛布などはごみ袋に入れて出すのではなく、リサイクルにご協力ください。

■出し方

洗濯してきれいにしたものをそのまま回収BOXに入れてください。
※ビニール袋等から出してください。

■リサイクルできる古着・古布
洋服、和服、シャツ、毛布、カーテン、タオル

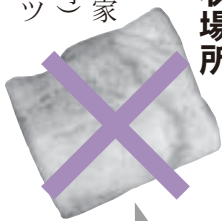
■リサイクルできないもの

・汚れているもの、濡れているもの
・革製品、中綿入りのもの
・お店・会社等から出るもの

※ふとんはリサイクルできません。
粗大ごみで出してください。

◎指定回収場所

- 市役所本庁
- 具同体育館
- 働く婦人の家(右山五月町)
- 安並スポーツセンター



ふとんはダメ!!

【上記についての問い合わせ先】(市)環境生活課 ☎(34)6126

公共下水道・農業集落排水へ接続のお願い

公共下水道・農業集落排水が利用できる地域の皆さんは、一日でも早く家庭などからの汚水を公共下水道・農業集落排水に流していただけるよう接続をお願いいたします。

工事内容や下水道使用料など詳しいことは下記までお気軽にお問い合わせください。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



【問い合わせ先】(市)都市整備課 下水道係 ☎(34)6129

税務課からのお知らせ

平成24年度より課税される市県民税の主な改正点についてお知らせします

1. 扶養控除

子ども手当の創設や高等学校授業料の実質無償化に伴い、左記のとおり改正されました。

控除対象扶養親族の年齢	改正前の控除額	改正後の控除額
16歳未満 H8.1.2以降生まれ	33万円	控除対象外
16歳以上19歳未満 H5.1.2～H8.1.1生まれ	45万円	33万円
19歳以上23歳未満 S64.1.2～H5.1.1生まれ	45万円(変更なし)	

2. 同居特別障害者に対する障害者控除

年少扶養控除の廃止に伴い、同居の特別障害者を扶養している場合に扶養控除に加算されていた23万円が廃止され、新たに障害者控除に23万円を加算します。したがって同居特別障害者の障害者控除として30万円から53万円へ変更になりました。

※年少扶養親族(16歳未満の扶養親族)に対する扶養控除は廃止されますが、市県民税(個人住民税)の非課税限度額(個人住民税の均等割・所得割の課税を判定する所得金額)の算定に扶養親族の人数の申告が必要になるので、申告がないと非課税の方が課税されたり、均等割額のみの方が所得割も課税される場合があります。また、障害者控除等の申告漏れにより、税額が増えてしまう場合もあります。

※申告(給与の年末調整含む)が漏れた場合は「16歳未満の扶養親族」について市県民税の申告により追加で申告する必要があります

配偶者および扶養親族に対する障害者控除額	改正前	改正後
障害者控除	26万円	26万円
特別障害者控除	30万円	30万円
同居特別障害者控除(新設)	—	53万円
同居特別障害者の配偶者・扶養控除加算	23万円	—

高知県からのお知らせ

森林環境税について

高知県の県民税(均等割年額)1,500円には、森林環境税500円が含まれています。森林環境税は、「森林環境の保全」のための事業や「県民参加の森づくり」を進めるための事業等に活用されます。

【税に関する問い合わせ先】(県)総務部税務課 ☎ 088(823)9308

【使途に関する問い合わせ先】(県)林業振興・環境部林業環境政策課 ☎ 088(821)4586

高知県からのお知らせ 土佐の産業おこし 参加プラン募集

第2期高知県産業振興計画がスタートしました。「地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志をもって働ける高知県」の実現を目指し、官民協働で取り組みを進めます。

応募対象者 県内の民間事業者
募集期限 6月29日(金)
募集するプラン 新たな事業展開に挑戦する事業者の取り組み

応募いただいたプランの取扱い

●県のホームページ等を通じての公表
●各プランに応じた県の各種支援策の紹介

※詳細については、県計画推進課ホームページでご確認ください。

【問い合わせ先】

(県)産業振興推進部計画推進課
☎ 088(823)93334
ホームページ

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/>

【問い合わせ先】(本)庁(税務課 市民税係)
(総合支所)税務係
☎ (34)1112(直通)
☎ (52)1111(代表)

ま ち の 話 題

中村まちバスが
新しくなりました

リニューアルした中村まちバスを5月1日から運行しています。

新しいまちバスは、これまでの21人乗りから9人乗り(8人+車いす1)の車に小型化し、乗降の際には自動でステップが出てくるなど以前より乗りやすくなっています。
ぜひ新しくなった中村まちバスをご利用ください。



【問い合わせ先】

(市)企画広報課

☎(34)1129

西土佐小学校 開校式典

4月29日(日)、4月から新しくスタートした西土佐小学校の開校式が行われました。

式典では、市長の式辞、教育長の工事報告に続き、工事業者、校歌の作詞作曲の先生、校章のデザインをしていただいた方々へ感謝状が贈呈されました。

その後、児童への記念品が贈呈され、児童はお礼の気持ちを込めて、全員で新しい校歌を披露しました。

教育長からできあがったばかりの真新しい校旗を受け取った、児童会副会長の松浦真叶香さん(6年)は、「立派な校旗をありがとうございます。この校旗にはじないよう、西土佐小学校の最初の卒業生となる誇りを胸に、勉強に運動に力いっぱいがんばります」とお礼の言葉を述べました。



新しい校歌を披露

4/29(日)



地域の人と一緒にもち投げ

また、児童会長の林大飛くん(6年)と児童会書記の沖唯子さん(6年)からは、「たくさんの方々が集まったこの新しい学校を、明るく元気な学校にします」と力強い誓いの言葉がありました。
式典後は、記念のもち投げが行われ、児童や保護者だけでなく集まっていたいた大勢の地域の皆さんも一緒に楽しみました。

竹屋敷あめごまつり

4月29日(日)、旧竹屋敷小中学校周辺を会場に、第14回竹屋敷あめごまつりが開催され300人ほどの来客者が集まりました。

炊き込みご飯やうどん、地元でとれた野菜などの販売ブースは、お土産に、昼食にと来場者で賑わいました。

このまつりの目玉は「あめご釣り」。たくさん釣りが愛好家や家族連れが朝早くから訪れ、大自然の中での釣りを終日楽しみました。昼前からは校庭の特設ステージで、土佐中村一條太鼓の皆さんによる演奏やマジックショーなどが行われ、観客を大いに沸かせていました。

最後に行われたのが小学生以下を対象とした「あめごつかみどり」。子どもたちが悪戦苦闘しながらひとつひとつ捕まえるたびに、お父さん、お母さんはニッコリ。子どもたち、大人たちの笑い声が溢れる賑やかなお祭りとなりました。



見て! じゃうずにつかめたよ!

4/29(日)

稚魚放流体験 アユ(蔵岡小・中村南小) ヒラメ(下田小)

5月10日(木)に蔵岡小学校1〜3年生が、11日(金)に中村南小学校2年生が、四万十川支流の後川と四万十川本流でアユ稚魚の放流を体験しました。また、24日(木)には、下田小学校5年生が、四万十川河口でヒラメ稚魚の放流を体験しました。

これらの体験事業は四万十川中央漁業協同組合が毎年実施しているアユ稚魚放流事業、下田漁業協同組合が毎年実施しているヒラメ稚魚放流事業の一環として、市内の子どもたちに海や河川そしてそこに棲む魚を身近に感じてもらおうと、市と協力して行っています。

参加した子どもたちは、バケツの中で元気に飛び跳ねる魚に興奮しながらも、「早く大きくなつてね」と楽しそうに放流していました。



蔵岡小児童



下田小児童

第7回キューシープラスカップ ディスクドッグ大会

5月19日(土)、20日(日)、赤鉄橋下の特設フィールドで、恒例となったディスクドッグ大会が開催されました。

この大会は、10月にアメリカで開催される世界選手権の予選を兼ねたもので、北は北海道、南は鹿児島県から35チームが参加し、手に汗握る熱戦を繰り広げました。

競技は音楽にあわせて、人と犬とが協力してさまざまな演技を行う「フリースタイル」と、人が遠投したディスクを犬がキャッチし、その回数と距離でポイントを競う「トス&フエチ」の二つで構成され、それぞれのポイントを合計して順位を決定します。

2日目は天候が不安定で、時折強い雨が降る状態でしたが、参加者は果敢に技に挑戦し、観客を沸かせました。

本市からは3チームが出場し、木村千春さんとアロハのペアがフリースタイルで5位、岡林さおりさんとパティのペアがトス&フエチで4位を獲得し、世界選手権への出場資格を得ました。



木村千春さん・アロハ チーム



岡林さおりさん・パティ チーム

かわらっこ村祭り

5/27(日)

3年ぶりに天気にも恵まれ、大勢の家族連れでにぎわいました。

かわらっここのメインはカヌー。勝間沈下橋からスタートのカヌー川下りツアーではゆったり流れる川を満喫。1コイン(500円)カヌー体験では、多くの初心者がインストラクターからの指導を受けて、チャレンジをしました。

かわらっこ市による鮎飯、田舎寿司の販売、カニ汁の無料配布のほか、草木染体験、宝探しなども。

四万十ヒノキの家モデルハウスでは、見学者に甘酒しるこ(ノンアルコール)がふるまわれました。



初心者へのレッスン



1年に1度は検診を
～健康は自分で～

保健カレンダー

6



健診	月 日		事業名	該当地区	時 間	場 所
教室・学習会 相談 献血 動物関係	18(月)	?	定例健康相談		9:00～11:00	西土佐分署横
	19(火)	+	特定健診(生活習慣病健診)【注】 健康の集い	下田	9:30～10:30 13:30～14:30 13:30～	竹島集会所 奥屋内下集会所
	20(水)	+	健康の集い 妊婦教室		13:30～ 13:30～15:30	下家地集会所 健康管理センター
	22(金)	+	1歳9ヵ月児健診		12:50～13:30	健康管理センター
	24(日)	+	妊婦教室		13:30～15:30	健康管理センター
	25(月)	+	胸部レントゲン(肺がん検診) 医師による子育て相談[要予約] ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会	後川	個別通知 9:00～12:00 13:00～17:00 9:30～10:00 11:00～11:30 13:30～14:00 15:00～15:30 16:00～16:30	後川地区 市役所 保健介護課 権谷集会所 押谷集会所 半家天満宮集会所 本村集会所 江川流域交流センター
	26(火)	+	妊婦教室 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会		13:30～15:30 9:30～10:00 10:30～11:00 13:30～14:00 14:30～15:00 15:30～16:00	健康管理センター 下家地集会所 中家地集会所 方の川集会所 西ケ方集会所 下方集会所
	27(水)	+	胃がん検診 マム&チルドレン 乳児健診	中村街	8:00～10:30 10:00～11:30 12:50～13:30	中央公民館 具同体育センター 健康管理センター
	28(木)	+	胃がん検診	中村街	8:00～10:30	中央公民館
	2(月)	?	定例健康相談 健康の集い		9:00～11:00 13:30～	西土佐分署横 岩間集会所
	3(火)	+	ひまわり健診		9:30～10:30 13:30～14:30	津野川小学校体育館
	4(水)	+	乳児健診 ひまわり健診 ひまわり健診		12:50～13:30 9:30～10:30 13:30～14:30	健康管理センター 須崎小学校体育館 大宮小学校体育館
	5(木)	+	胸部レントゲン(肺がん検診) ひまわり健診		9:30～10:30 9:30～10:30 13:30～14:30	西土佐保健センター 西土佐保健センター
7月	6(金)	+	3歳児健診		12:50～13:30	健康管理センター
	9(月)	+	ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会		9:30～10:00 10:30～11:00 13:30～14:00 15:00～15:30	奥屋内上集会所 奥屋内下集会所 南津地区保健福祉サテライト 玖木公民館
	10(火)	+	特定健診(生活習慣病健診)【注】 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会 ひまわり健診報告会	下田	9:30～10:30 13:30～14:30 9:00～9:30 10:00～10:30 13:30～14:00	水戸公民館 中半体育館 岩間集会所 藤ノ川集会所
	11(水)	+	マム&チルドレン 出張健康相談 出張料理教室		10:00～11:30 9:00～11:00 11:00～	具同体育センター J A 高知はた西土佐支所 口屋内公民館
	12(木)	+	特定健診(生活習慣病健診)【注】	中村街	9:30～10:30 13:30～14:30	文化センター
	13(金)	+	特定健診(生活習慣病健診)【注】 健康の集い(出張料理教室セット)	中村街	9:30～10:30 13:30～14:30 11:00～	文化センター 藤ノ川集会所

注) 特定健診(生活習慣病健診)は、40歳以上の国民健康保険に加入している人で、受診票または受診券を送付している人および、40歳以上の協会けんぽ等に加入している被扶養者の人で、市に予約済みの人が対象です。
※6月16日(土)までの計画については、広報四万十5月号に掲載しています。

【お詫びと訂正】 広報四万十5月号掲載 6月14日(木) 献血受付時間
誤: 9:00～11:30 正: 9:00～11:00

【問い合わせ先】 (本庁)保健介護課 ☎(34)1115 (総合支所)保健課 ☎(52)1132

四国のいいぶん

地域医療を守れるか

NHKテレビ 市民病院を紹介

NHKテレビ四国ローカル番組「四国のいいぶん」（松山局制作）は、四国の課題を視聴者と一緒に真剣に考える、報道トークバラエティです。

5月11日（金）放送のテーマは「地域医療を守れるか」。

冒頭、全国で問題となっている「医療崩壊」について解説。新たな臨床研修医制度の導入により地方の医師不足（特に公立病院）が深刻になったことから、2008年、国や県では医学部の定員を増員するなどの対策を開始していますが、四国ではいまでも医師約1300人が不足、公立病院（51）のうち73%（37）が累積赤字を抱えています。

医師不足のなかで、必死の努力をしている2つの公立病院を紹介。

四十万市立市民病院は、新しい医師を迎え入れ、気持ちよく働いてもらえるよう処遇改善に努めています。市民病院にもっとがんばってほしいという、市民（患者）の期待の声も紹介されました。（もう一つは愛媛県立南宇和病院を紹介）

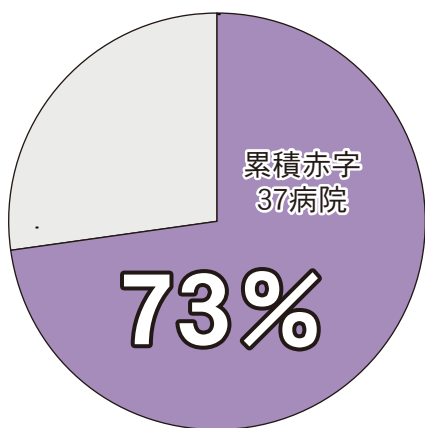
番組では、3人の識者が発言。

塩谷泰一氏（医師、高松市病院事業管理者）は、「公立病院らしい医療を行っているかが問題」、「胸を張れる赤字もある」、本田宏氏（医師、NPO医療制度研究会副理事）は「医学部に地域枠を」、伊関友伸氏（城西大学教授）は「住民も当事者意識をもつ」、を提案しました。

番組最後にまとめた視聴者アンケート結果は、「公立病院を維持するための負担を続ける？」は、「やむをえない」（67%）、「許せない」（33%）。「四国の医療を改善できるか？」は、「できる」（64%）、「できない」（36%）となりました。

■NHK調査

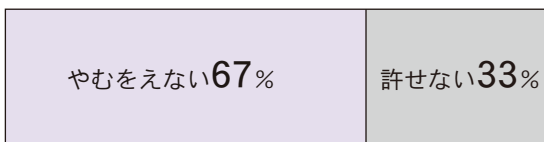
四国の公立病院（51病院）



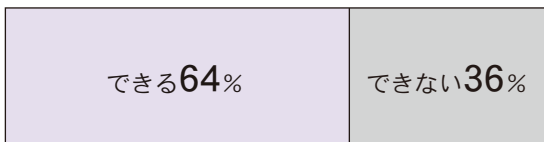
平成22年度 総務省データ

■視聴者アンケート

公立病院維持のため負担を続けることは？



四国の医療を改善できるか？



市民病院

医師診療担当

6月1日より

● 受付 8時～11時
● 診療時間 9時～
☎ (34) 2126

		月		火		水		木		金	
内 科	午前	初診	矢野昭起	初診	矢野昭起	初診	樋口佑次 (紹介患者のみ)	初診	高橋敏也	再診	樋口佑次
				再診	樋口佑次	初診	高橋敏也	初診	矢野昭起	再診	竹田修司
		再診	樋口佑次	再診	鷺山憲治	再診	矢野昭起	再診	樋口佑次	再診 禁煙外来 (呼吸器外来)	石井泰則
	午後	再診	樋口佑次	再診	鷺山憲治	再診	高橋敏也	再診	樋口佑次	再診	樋口佑次
		再診	高橋敏也	再診	国立高知 病院医師			再診	高橋敏也		
外 科	午前	宇都宮俊介		石井泰則		宇都宮俊介		石井泰則		宇都宮俊介	
整形外科	午前	河内 通		坪屋英志		河内 通		坪屋英志		河内 通	
脳神経 外 科	午前	伴 昌幸 (川田祥子)		川田祥子 (伴 昌幸)		伴 昌幸 (川田祥子)		川田祥子 (伴 昌幸)		伴 昌幸 (川田祥子)	
	午後	急 患 の み									
泌尿器科		休 診									

児童手当の「現況届」

現在児童手当を受け取っている人は子どもの養育状況の確認のため、「現況届」の提出が必要です。手続きをお願いします。現況届は5月下旬に該当者に送付しています。

この届出がないと、6月以降の手当が受け取れなくなりますのでご注意ください。

※平成24年5月1日以降の転入、出生により認定請求（額改定認定請求を除く）をしている人は、「現況届」の手続きは必要ありません。

■受付期間

6月4日（月）～29日（金）

※土、日は除く

8時30分～12時、13時～17時15分

■必要なもの

・送付した現況届

・認めの印鑑

・請求者の健康保険証（会社員等の場合）

※公務員は勤務先で手続きをしてください。

【問い合わせ・提出先】

（本 庁）福祉事務所 家庭福祉係

☎（34）1801

（総合支所）福祉事務所 西土佐福祉分室

☎（52）1132

重度心身障害児・者医療費助成制度

重度心身障害児・者が医療を受けるとき、各医療保険の対象となる医療費の自己負担分を助成します。左記に該当する人は、福祉事務所へ申請してください。（6月中に申請し認定されれば、7月から助成を受けることができます）

対象者（次の①～③いずれかの人）

①身体障害者手帳 1級または2級の人

②療育手帳 A1（最重度）またはA2（重度）の人

③身体障害者手帳3級または4級を所持し、かつ療育手帳B1（中度）の知的障害と認定された18歳未満の合併障害の人

ただし、65歳以上で、平成15年10月以降に新たに重度障害者①・

②の認定を受けた人は、平成24年度市民税非課税世帯の人のみが対象となります。（課税世帯の人は対象なりません）

※平成23年度市民税課税世帯のため助成対象外になっている人も、平成24年度の市民税が非課税世帯に該当する場合は助成対象となるため、6月中に申請をしてください。

※平成24年7月1日以降も有効な受給者証を持っている人は、6月中の申請は必要ありません。

例 平成15年9月30日までに受給者となった人。

65歳未満の人。

75歳の誕生日の前日まで有効な受給者証を持っている人 など

■申請に必要なもの 障害者手帳、健康保険証、印鑑

【問い合わせ・申請先】

（本 庁）福祉事務所 家庭福祉係

☎（34）1801

（総合支所）福祉事務所 西土佐福祉分室（保健課内）

☎（52）1132

障害者相談員を紹介します

○任 期：平成24年4月1日～平成26年3月31日までの2年間

本市では、右記の方々に障害者（身体・知的）相談員をお願いしております。障害者（身体・知的）や、その家族からの相談に応じています。

【問い合わせ先】

（市）福祉事務所 社会福祉係 ☎（34）1120

	氏 名	地 区	電話番号
身体障害者相談員	朝日 孝子	間崎	☎（36）2935
	伊藤 光明	森沢	☎（37）2358
	上岡 淳宏	不破	☎（34）2983
	横山 恵美子	西土佐江川崎	☎（52）2275
知的障害者相談員	渥美 武男	不破	☎（35）3082

■5月18日（金）、J A 高知はた農業協同組合さまから安並運動公園内の「四万十スタジアム」にA E D（自動体外式除細動器）を設置していただきました。A E Dの設置により、今までよりさらに安心してスポーツができるようになりました。ありがとうございました。

（市）教育委員会 社会体育課
（財）四万十市体育協会



東日本大震災で四十万十市に避難している住民のみなさんへ 特定健康診査、 後期高齢者健康診査のお知らせ

東日本大震災により、岩手県、宮城県の一部の市町村から住民票を異動しないで県外に避難している人のうち、市町村国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入している人は、平成24年度から、特定健康診査または後期高齢者健康診査（以下、「特定健診等」）を避難先でも受診できます。

■対象者

岩手県内と宮城県の左記の市町村（避難元市町村）から住民票を異動しないで県外に避難している人のうち、市町村国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入している人。

盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、岩手町、紫波町、矢野町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、洋野町、野田村、一戸町	仙台市、石巻市、気仙沼市、塩竈市、名取市、岩沼市、東松島市、大崎市、亘理町、山元町、女川町、南三陸町
---	--

■受診期間

平成25年3月31日まで

■検査内容

特定健診等の基本項目に沿った身体測定、血圧、尿検査など
※市町村で独自に追加している検査項目やがん検診等は除かれます。

■受診の流れ

- ① 避難元市町村に、特定健診等を受診したい旨を電話等により連絡してください。
- ② 避難元市町村から「受診券」、「実施機関一覧表」および「昨年度の健診結果」が送付されます。
- ③ 「実施機関一覧表」に掲載されている健診機関に予約を入れてください。
- ④ 「受診券」、「被保険者証」および「昨年度の健診結果」を持参して、健診機関で受診してください。（健診の自己負担額は「受診券」に記載されている金額となります）
- ⑤ 後日、健診機関から健診結果が送付されます。

■受診上の注意

- 受診の前日または当日の食事や服薬などについて、受診する健診機関に確認してください。
- 健診結果は、後日、健診機関から送付されますので、受診した後に住所が変わった人は、必ず健診機関に連絡してください。

【問い合わせ先】（本 庁）保健介護課 保健衛生係

（総合支所）保健課 保健係

☎（34）1115
☎（52）1132

狂犬病予防注射はお済みですか

■中村地域 6月22日（金）

場 所	時 間
古津賀第2団地集会所前	9:00 ～ 9:05
古津賀1丁目4号公園前（ダイソー裏）	9:15 ～ 9:20
下田貴船神社前	9:40 ～ 9:45
安並運動公園入口	10:10 ～ 10:15
蕨岡生活改善センター前	10:30 ～ 10:35
富山地区集会所前	10:50 ～ 10:55
田野川（井の上橋元）	11:15 ～ 11:20
利岡橋後川中学校側	11:30 ～ 11:35
大川筋診療所前	11:45 ～ 11:50
手洗川（佐竹悦久宅前）	11:55 ～ 12:00
有岡（旧J A中筋出張所前）	13:10 ～ 13:15
楠島（J A中村西部事業所前）	13:35 ～ 13:40
森沢集会所前	13:55 ～ 14:00

■中村地域 6月28日（木）

場 所	時 間
入田（楠の木元）	9:00 ～ 9:05
田黒（まなびの館前）	9:15 ～ 9:25
自由ヶ丘団地（東公園前）	9:40 ～ 9:50
下木戸集会所前	10:10 ～ 10:15
間崎集会所前	10:25 ～ 10:30
不破八幡宮前	10:55 ～ 11:00
四十万市役所駐車場（消防屯所前）	11:20 ～ 11:40

■西土佐地域 6月20日（水）

場 所	時 間
口屋内診療所前	9:10 ～ 9:15
岩間集会所前	9:30 ～ 9:35
大宮産業横	10:10 ～ 10:15
西ヶ方駅前	10:35 ～ 10:40
本村小学校下道路沿	10:55 ～ 11:00
中組共同飼育所	11:10 ～ 11:15
西土佐総合支所前	11:30 ～ 11:35

◎料金は、登録3000円、注射3000円です。

狂犬病の予防注射を追加実施します。
集合注射は6月が最後になりますので、4月、5月に飼い犬の予防注射を受けられなかった人は、必ず受けるようにしてください。集合注射を受けられなかった場合は、幡多郡内の動物病院で必ず受けてください。
また、集合注射の際に新規登録もできます。登録していない犬については必ず登録をしてください。

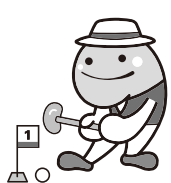
■犬の登録を済ませている場合は、登録料は必要ありません。

■当日は、問診票を持って来てください。（登録済の犬のみ）

■必ず指定した時間までにお集まりください。時間をすぎれば次の場所に移動します。

【問い合わせ先】

（本 庁）環境生活課 ☎（35）4147
（総合支所）保健課 ☎（52）1132



第26回全国健康福祉祭こうち大会

ねんりんピックよさこい高知2013



●●●●● 長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流 ●●●●●

■ねんりんピックとは

全国健康福祉祭の愛称で、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。昭和63年に第1回が開催されて以来毎年開催され、今年10月には宮城県で第25回が開催されます。

来年10月には「第26回全国健康福祉祭こうち大会ねんりんピックよさこい高知2013」として、高知県内9市6町1村で24種目の競技等が実施されます。

本市では、グラウンド・ゴルフを開催することになり、全国から400人以上の選手を始め、役員、観客、視察など多くの関係者が来市する予定です。

日程

平成25年10月26日(土)～29日(火)

※グラウンドゴルフは27日(日)、28日(月)

場所

安並運動公園

(四万十スタジアム・補助グラウンド)

■大会マスコット

平成14年に行われたよさこい高知国体のマスコットと同じ「くろしおくん」が、今年大会もマスコットを務めます。

平成9年に公募され、土佐湾沖を流れる黒潮をイメージしています。

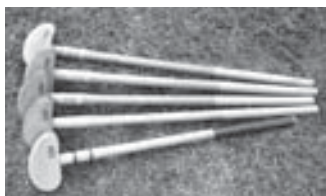
■グラウンド・ゴルフとは

昭和57年に鳥取県泊村の教育委員会が中心となり考案された、いわゆる生涯スポーツやニユースポーツなどと呼ばれる競技のひとつで、近年、全国的に愛好者が増えています。

競技には専用の道具を使います。ボールは、ゲートボールのものよりひと回り小さい直径6cm。クラブの長さは、80cm前後で、ゴルフのパターと同じくらいです。

グラウンド・ゴルフは、穴ではなくホールポストという直径36cmの輪の中に、いかに少ない打数でボールを入れるかを競いますが、ボールが輪の中で静止した状態のことを、考案された村の名前にちなんでトマリといいます。

標準コースは4種類(15・25・30・50m)の長さのホールが、各2ホールずつ合計8ホールとなっており、大会などでは3コース(24ホール)回ってスコアを競います。



■実行委員会が設立されました

5月10日(木)、「第26回全国健康福祉祭こうち大会ねんりんピックよさこい高知2013四万十市実行委員会」の設立総会が開かれました。

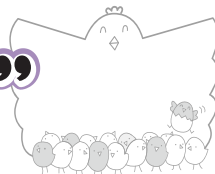
市内の各関係機関の代表者など49名の委員等で構成する四万十市実行委員会が設立され、今後の事業計画や予算などについて決定されました。

今後、競技・式典の運営方法などを中心に、全国から来市される選手や関係者などをどのようにお迎えするかについて話し合います。



【問い合わせ先】ねんりんピック四万十市実行委員会事務局(保健介護課) ☎(34)1165

四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”



親子ふれあい活動 1・2・3歳児対象

七夕製作①②③

リング状に切った画用紙の土台に、みんなが作った織姫・彦星を飾ろう。願い事も考えてきてね！

時 ①6月19日(火)②21日(木)③22日(金)

9:30 ~ 11:30

場 子育て支援センター

おもちゃを作って水あそび①②③

ペットボトルの容器を使ってバケツやシャワーを作るよ…お母さんと一緒にプールで遊ぼうね！

※空のペットボトルの容器(2L)があれば、洗って持ってきてね！

時 ①7月10日(火)、②12日(木)、③13日(金)

9:30 ~ 11:30

場 子育て支援センター

※初めて参加を希望する人は、都合がありますので、事前にご連絡ください(活動内容によっては、ご遠慮をお願いする場合もあります)。①など番号がついている活動は、各日程ごとにグループに分かれます。

園庭開放 ※雨天の場合は中止します。

保 育 所 名	月 日	時 間	駐 車 場
もみじ保育所	6月20日 水	10:00 ~ 11:00	なし
愛 育 園	7月11日 水	9:30 ~ 10:30	なし
あおぎ保育所	7月 5日 木	9:30 ~ 10:30	数台分有
下 田 保 育 所	7月13日 金	10:00 ~ 11:00	"
古津賀保育所	7月11日 水	10:00 ~ 11:00	"
具 同 保 育 所	6月19日 火	9:30 ~ 10:30	"
	7月12日 木		
八 束 保 育 所	6月19日 火	9:30 ~ 10:30	"
東中筋保育所	6月19日 火	9:30 ~ 11:00	"



その他の活動

ぴよちゃんクラブ①②

〔はじめての水あそび〕

①②グループ一緒にするヨ。みんなでちゃぶちゃぶ…初めての水あそびを楽しもう！

時 ①7月9日(月) 9:30~11:30

場 子育て支援センター

お誕生会

6月生まれのお友だちのお誕生日をみなでお祝いしようね。

時 [ぴよちゃんクラブ] 6月28日(木) 9:30~11:30

[1,2,3歳児] 6月29日(金) 9:30~11:30

場 子育て支援センター

七夕まつり

みなでにぎやかに七夕まつりを楽しみましょう。歌や踊りも一緒にするよ♪みんなの願い事もかなうといいね！

時 [ぴよちゃんクラブ] 7月3日(火) 9:30 ~ 11:30

[1、2、3歳児] 7月4日(水) 9:30 ~ 11:30

場 子育て支援センター

※7月5日(木)は、職員が研修会出席のためお休みさせていただきます。

育児相談 相談日/月~金曜日 9:30 ~ 11:30、13:30 ~ 16:30
子育てについて思っていること、悩んでいること等気軽にご相談ください。電話相談だけでなく、直接来所しての相談にも応じます。
※活動のある日の午前中は、相談に応じられない場合があります。
※家庭相談員による育児相談も行っています。
(毎月第3木曜日 9:30 ~ 11:30)



問い合わせ先



四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”

右山元町1丁目2-10 ☎(35)3748

たい肥等の購入費の一部を助成します

市では有機農業推進の一環として化学肥料に頼らない土づくりのために市内で生産し販売されている畜産たい肥や有機物の購入費の一部を助成しています。

■対象 市内の農業者個人または団体

■助成対象期間

平成24年4月1日~平成25年3月31日までの購入分

※購入日が平成24年4月以降のものが対象になります。

■助成内容

- ・たい肥等の購入費の一部助成
- ・畜産堆肥・もみガラ堆肥などの購入費の1/3以内を助成
- (上限額…個人2万円 団体5万円)
- ・たい肥等散布委託費の一部助成
- ・農作業受託組織等へ機械散布委託に要した経費の1/2以内を助成

【問い合わせ・申込先】

(本 庁) 農業課 農業振興係

☎(34)1117

(総合支所) 産業建設課

☎(52)1111



市立墓地（城北霊園）永代使用の希望者募集

申込対象者	本市に住所または本籍を有する人。 （市外在住の方は、墓地使用に関する一切の事項を処理する市内在住の代理人の選定が必要です） ※市立墓地の使用にあたっては、「四万十市立墓地の設置及び管理に関する条例」および「同施行規則」に定める一定の制限があります。
市立墓地の場所	中村丸の内23992ほか
募集区画数	未使用区画1区画（区画番号：38） ※霊園入り口に区画表示板を設置していますので、事前に現地をご確認のうえお申し込みください。
永代使用料 および 管理手数料	・永代使用料：45万円 ・管理手数料：3150円／年（24年度は月割） ※貸付時において永代使用料および管理手数料（5年分）を一括で納付していただきます。
使用期間	平成24年度貸付日から永年とする。
申込受付期間	6月11日（月）～29日（金）まで ※土、日除く （郵送の場合は29日消印有効）
申込書	（本庁）市民課、（総合支所）市民課西土佐市民国保分室 ※郵送による請求の場合は、宛先を明記した返信用封筒（80円切手貼付のこと）を同封して（本庁）市民課市民係まで請求してください。
申込方法等	・墓地使用申込書に必要事項を記載して申請してください。 ※郵送で申請される場合は、申込書に必要事項を記載のうえ左記申し込み先までお願いします。 ・申込は、1世帯につき1件とします。 ・申込者が多数の場合は抽選を行います。
抽選予定日	7月10日（月）午前10時 場所：市役所3階 会議室303・304 ※抽選者は申込者および申込者に委任（要委任状）された人のみです。

【問い合わせ・申し込み先】

（本 庁）市民課市民係（霊園担当） ☎（34）11113
〒787-8501 四万十市中村大橋通4-10
（総合支所）市民課西土佐市民国保分室 ☎（52）11111

図書館だより

開館時間 9：00～18：00

平成24年
6
June

★休館日の案内★

6月11日（月）	定休	7月2日（月）	定休
18日（月）	定休	9日（月）	定休
25日（月）	定休	16日（月）	定休
29日（金）	館内整理日		

★文部科学大臣表彰を受けました★

図書館が「子ども読書活動」優秀実践団体として4月23日子ども読書の日に表彰されました。これも、図書館を積極的に応援して下さった皆さまのおかげです。
四万十市は面積が広く、図書館から離れた子どもたちにも本を届けようと、平成6年から毎月保育所や各学校を巡回して団体貸出しをしています。
市内の赤ちゃんには、絵本を読んでもらってすくすく育つようと、乳児健診時に親子で読み聞かせを体験してもらい、あかちゃん絵本をプレゼントしています。
また、今年度中に四万十市の「子ども読書推進計画」を作るように取り組んでいます。
これからもよろしく願います。

（問）市立図書館 ☎（35）2923

一般書

きみはいい子 万葉時代婚姻の研究 痛み うふふな日々 がんばれ！ニッポンの商店街 キーワードで読む現代日本社会 3・11から考える「家族」 ぼくが逝った日	中脇 初枝（中村出身） 栗原 弘（ " ） 貫井 徳郎 あさの あつこ 全国商店街を巡る会 中西 新太郎 真鍋 弘樹 ミシェル・ロスタン
--	---

6月の新着図書（258冊）

児童書／えほん

うそついちゃったねずみくん おつかいまんかじゃありません げんききゅうしよく いただきます ドレスを着た男子 バツタさんのきせつ ぴたっとヤモちゃん ペンギンがっしょううだん よろしくともだち	上野 紀子 柏葉 幸子 つちだ よしはる デイヴィッド・ウォリアムズ エルンスト・クライドルフ 石井 聖岳 斉藤 洋 降矢 なな
---	---

四万十市体験型観光受入研究会

の取り組み

当研究会は、全国から四万十市を訪れる多くの修学旅行生について、カヌーや民泊などいろいろな体験を通じて受け入れをしています。

昨年度は、18団体、延べ1826名もの学生たちを受け入れ、いろいろな体験を通じて本市での楽しい時間を過ごしてもらいました。

特に民泊では、私たちの日常が学生たちにとっては非日常であり、初めて体験することばかりで充実した時間を過ごし、受け入れ側もまた、学生たちから刺激をもらいました。

実際に民泊した生徒からは「もう1つの家族ができたようで、とても楽しかったです。もし機会があれば会いに行きます」などお礼の手紙も届いています。もっとたくさんの交流の場を広げるために民泊のできる人を増やしていきたいと考えています。

受け入れは今年度もすでに始まっており、5月16日(水)、岡山大学教育学部附属中学校の2年生25名が、四万十市観光協会から佐田沈下橋までの往復16kmのサ

イクリング体験をしました。

当日は真夏日並みの気温の中、学生たちは懸命に自転車走らせ、途中、四万十川の河原に下りて川遊びをしながら、約2時間のサイクリングを満喫しました。サイクリングを終えた生徒たちは「木陰の下り坂が気持ち良かった」「河原で遊んだのが楽しかった」と笑顔で話していました。

今後も広報誌等を通じ、研究会の取り組みを紹介していきます。研究会の活動等詳しく知りたい人は、左記までお問い合わせください。



サイクリング体験
(5月16日・岡山大学教育学部附属中学校)

【問い合わせ先】

四万十市体験型観光受入研究会
(観光課)

☎(34)1783

心豊かに食す

～管理栄養士からのメッセージ～



健康づくり編
貧血予防に…

かつおのソテー＊梅ソースがけ

(所要時間:約20分)

この梅ソースは、とても簡単に作り、さっぱりしていて食べやすく、茹でたり焼いたりした豚肉や鶏肉などとも相性抜群です。

＊梅ソースの材料＊

梅干し…大1個(または梅肉7g)	しょうゆ(濃) …… 大さじ2/3
玉ねぎ ……50g	砂糖 …… 大さじ1
にんにく …… 1/2かけ	みりん …… 小さじ1/2
オリーブ油 …… 小さじ1/2	だし汁 …… 小さじ1/2

＊梅ソースの作り方＊

1. 玉ねぎは薄くスライス、にんにくはみじん切りにする。
梅干しは、種を取り、包丁でたたいておく。
2. フライパンにオリーブ油、にんにくを入れて熱し、香りがたったら玉ねぎを入れて炒め、取り出して冷ましておく。
3. 調味料とだし汁を合わせ、その中に炒めた玉ねぎと梅肉を入れ混ぜる。

材料(2人分)

かつお ……約160g
しょうゆ(淡) ……小さじ1/2
酒 ……小さじ1/3
オリーブ油 ……少々
しその葉 ……1/2枚

栄養成分【1人分】

エネルギー:166kcal 脂 質:3.8g
たんぱく質:20.3g 食塩相当量:1.5g



■鉄欠乏性貧血は体内で、ヘモグロビンの材料となる鉄分が不足することが原因。しかし、鉄は吸収されにくい栄養素です。貧血予防には、鉄が多い食品を、吸収率を高める食品と一緒にとりましょう。また、酢や香辛料、梅干しなどを使った料理は、胃酸の分泌を高め、鉄の吸収率を高めてくれます。

◎鉄が豊富な食品

レバー、まぐろ、かつお、あさり、ひじき、切り干し大根、ほうれん草など

◎鉄の吸収を高める栄養素

たんぱく質…肉、魚、卵、大豆・大豆製品、牛乳・乳製品など

ビタミンC…じゃがいも、いちご、キウイ、ピーマン、ブロッコリー、パセリ、しその葉など

(市民病院 管理栄養士 広井蓉子)

第62回 社会を明るくする運動

7月は、「社会を明るくする運動」の強調月間です。
この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くためのものです。

このため行動目標を「①犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう②犯罪や非行に陥らないように地域社会で支えよう③これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう」とし、重点事項に「立ち直りを支える取組についての理解促進」「就労・住居等の生活基盤づくりにつながる取組の推進」を掲げ、全国的に運動が展開されます。

【実施委員会の主なメンバー】

保護司会、人権擁護委員、四万十わかば更生保護女性会、区長会、身体障害者連盟、民生委員児童委員協議会、中村女性団体連絡協議会、連合婦人会、中村警察署、社会福祉協議会、四万十市、四万十市教育委員会など

【各地域の活動内容】

中村地域	西土佐地域
活動内容	活動内容
・出発式 場所：市役所駐車場	・出発式 場所：西土佐総合支所
・街頭啓発 フジグラン四万十 サニーマート 天神橋アーケード	・市内巡回広報 (啓発パンフレット配布)
・無縁墓地の清掃	・有線放送による取り組みの啓発
・市内一斉健全育成パトロール	
・市内巡回広報	
・講演会 7/14 (土) 時間 13時30分～15時00分 場所 中央公民館1階大会議室 講師 高知BBS連盟会長 演題 「社会を明るくする運動とBBS運動」	・研修会 7/28 (土) 時間 19時00分～19時30分 場所 中央公民館1階大会議室 講師 中村警察署 演題 「非行の現状と対策について」

【問い合わせ先】

(市)人権啓発課 ☎(35) 1035

(市)教育委員会 西土佐事務所 ☎(52) 1110

6月は高知県の「男女共同参画推進月間」です

県では「高知県男女共同参画社会づくり条例」により、6月を「男女共同参画推進月間」と定めています。

男女共同参画というとなんだかとても難しいことのように思っていませんか？

男女共同参画とは、「男だから」「女だから」という固定的な考え方にとらわれないで、男女がお互いに社会の対等なパートナーとして認め合う意識を持ち、自分の意思と責任で自由に生き方を選択できる社会を目指すことです。

例えば、こんなことが男女共同参画を進めることになります。

■家庭では

◎最近では、結婚後や出産後も仕事を続ける女性が増えていきます。

でも、いまだに家事、育児、介護など家庭のことは女性の仕事と考えている人はいませんか。家庭の仕事を家族みんなで協力して支え合っていきましょう。

◎家や車の購入、子育てのことなど、重要なことを決めるときは、パートナーと話し合ってお互いの意見を聞きましよう。

■職場では

◎企画会議など意思決定の場に男女が対等に参画し、個性と能力を生かせる職場づくりをしていくことです。

◎最近では、子育てを楽しみたいと願う男性も増えていきます。男性も女性も、仕事と子育てがバランスよく行える職場環境を整えることです。

■地域では

◎町内会など、地域で重要なことを決める場に、男女がともに参画し、地域活動に多様な意見を反映させることです。

【男女共同参画に関する問い合わせ先】

(市)人権啓発課 ☎(35) 1035

(県)県民生活・男女共同参画課 ☎088(823)9651
こうち男女共同参画センター・ソーレ ☎088(873)9100

全国共通人権相談ダイヤル みんなの人権 110番

法務省の人権擁護機関では、法務局の常設相談所の電話番号を全国統一の番号とし、相談者からの電話の発信地域に応じて、最寄りの法務局につなげることで、人権相談をより利用しやすいものとしています。

■時間

平日8時30分～17時15分

■電話番号(ナビダイヤル)

☎0570・003・110
(ゼロゼロみんなのひやくとおばん)

※PHS、一部のIP電話からはご利用できない場合があります。

■取扱内容

差別待遇、暴行、虐待、セクハラ、パワハラ、いじめ、体罰、名誉毀損、プライバシー侵害等人権問題に関するあらゆる相談

※相談は無料、秘密は厳守します。
法務局職員または人権擁護委員が相談に応じます。

【問い合わせ先】

高知地方法務局 人権擁護課
☎088(822)3503

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

相談

児童、生徒の皆さんが安心して相談できるよう、フリーダイヤルになっています。学校や家庭、友達関係の悩みごとなど、何でも相談してください。

実施期間 6月25日(月)～7月1日(日)
時間 8時30分～19時

開設場所 高知地方法務局人権擁護課
(高知市栄田町2-2-10)
※土、日曜日は10時～17時

電話番号(フリーダイヤル)
☎0120(007)110

取扱内容
※IP電話からは接続できません。

いじめ、体罰、児童虐待等子どもをめぐる人権問題
※相談は無料、秘密は厳守します



問 高知地方法務局 人権擁護課 ☎088(822)3503

しまんと
情報掲示板



防犯メモ

相談

毎月第3木曜日は「通学路安全の日」です！

毎年、中村警察署管内では、声かけやつきまとい等の不審者情報が寄せられています。

また、県外では小学生児童の列に自動車が入り込み、死傷者が発生しています。

児童の登下校時間帯は、子どもたちが犯罪や交通事故の被害者になりやすい時間帯であるといえます。

そこで毎月第3木曜日を「通学路安全の日」として、登下校中の子どもたちの見守り活動を実施しています。

散歩や買い物中などの日常生活において、無理のない範囲での見守り活動をお願いします。

地域の子どもの安全は地域で見守りましょう。

※県内の不審者情報は県警のホームページに掲載しています。(被害者の都合などにより全ての情報を掲載しているわけではありませんのでご了承ください)

問 中村地区地域安全協会
(中村警察署内)
☎(34)0110

教室・講座

貿易アドバイザーによる個別貿易相談会

ジェトロ(独立行政法人日本貿易振興機構)高知の主催により、貿易アドバイザーを招いての個別貿易相談会を開催します。貿易実務の基礎、取引先の発掘方法、契約交渉や契約書作成における留意点など貿易実務に関する具体的な質問やご相談をお受けします。この機会を是非ともご活用ください。

日時 6月18日(月)

会場 9時30分～16時30分
市役所3階会議室305

参加費 無料(事前予約制)

回答者 馬場正修(貿易アドバイザー)
(専門分野:貿易実務全般 中国・香港・台湾を中心とした事業戦略コンサルティング)

定員

先着4社で、相談時間は1社につき最長60分です。右記日時のうち、ご希望の時間をお申し出ください。

申込方法

6月14日(木)までに下記までお申し込みください。

問 ジェトロ高知(担当:松浦、渡部)
☎088(823)1320 E-mail: KOC@jetro.go.jp

第1回 男性の料理教室

この頃話題の弁当男子をめざしませんか。
お手製の弁当で楽しいランチタイムを過ごしましょう♪

日時 6月30日(土) 10時～12時30分

※講師の都合により日程等変更になることがありますが、ご了承ください。

場所 働く婦人の家2階調理室

講師 谷崎 佐千代

対象者 市内居住の男性

定員 10人

材料費 600円

持ってくるもの

エプロン、ふきん(3枚)、筆記用具

内容 すぐに役立つお弁当作り

おにぎり、牛肉のしぐれ煮、卵焼き
パスタのサラダ、じゃがいものホイル焼き

申込方法 本人に限り窓口または電話で受付

受付期間 6月13日(水)～

9時～12時/13時～17時15分

(土・日を除く)

※定員になり次第締め切り

問 働く婦人の家 ☎(34)6299

今月は
市県民税 1期分
の納付月です



四万十川国際音楽祭2012 中村交響楽団 第80回定期演奏会

催し

第80回の節目となる今年は、著名なバイオリン奏者・大谷康子さんを迎え、チャイコフスキーの大作に挑戦します。音楽祭ならではの価格となっています。ぜひ、この機会にクラシック音楽をお楽しみください。

日時 7月15日(日)

13時開演(開場:12時30分)

場所 市立文化センター

曲目 モーツァルト:序曲 劇場支配人

ヴァイオリン協奏曲第5番

チャイコフスキー:交響曲第5番 八長調

チケット (前売) 一般:1千円

高校生以下:500円

(当日)各200円増

チケット販売所

市立中央公民館、市立文化センター、教委西土佐事務所、アピアさつき、サニーマート四万十店、市内楽器店、鈴ハイヤー、澤近画廊、総合衣料田中屋、ドコモショップ四万十東店、土佐くろしお鉄道中村駅売店



大谷康子さん
[Photo 尾形正茂]

問 四万十川国際音楽祭実行委員会(市立中央公民館内) ☎(34)7311

働く婦人の家講座

教室・講座

	日程【注】	時間	定員	場所	講師	用意するもの	申込期間
ヒーリング・ヨガ	7月3日、17日、31日 8月7日、21日 (いずれも火曜日、全5回)	19時～20時30分	12人	働く婦人の家 2階 和室	野村 厚子	飲物、バスタオル ※ヨガマットをお持ちの人はご持参ください	6月18日(月)～
パッチワーク (初心者対象)	7月5日～19日 毎週木曜日 (全3回)	19時～21時	12人	働く婦人の家 2階 図書室	柿内 由美子	裁縫道具、紙切りハサミ、鉛筆、ものさし (作品:ログキャビンの袋) 材料費:2,300円程度	6月25日(月)～
絵手紙 I	7月13日、20日 金曜日 (全2回)	19時～21時	16人	働く婦人の家 2階 講習室A	柏原 啓一	古タオル、古新聞、絵具	7月2日(月)～

【注】講師の都合により日程が変更になることがありますのでご了承ください。

対象者 市内に居住または勤務する女性

受講料 いずれも無料

申込方法 本人に限り窓口・電話で受付(9時～12時、13時～17時15分/土・日を除く) ※定員になり次第締め切り

問 働く婦人の家 ☎(34)6299

第8回 幡多ふれあい医療公開講座

教室・講座



日時 6月17日(日)
13時開場、13時30分開場
宿毛市立宿毛文教センター

内容 「寝たきりにならないために」
ひざの痛みについて
幡多けんみん病院整形外科副院長 小松 誠
「高齢者の骨折について」
幡多けんみん病院整形外科副院長 北岡 謙一

参加費 無料、どなたでも参加できます

問 幡多けんみん病院(経営企画課) ☎0880(66)2222(代表)
(市)保健介護課 ☎(34)1823

いやしの里からのお知らせ

お知らせ

■開業10周年記念ご優待
四万十いやしの里では、来月7月2日に開業10周年を迎えます。
そこで10周年を記念し、レストラン「山川海」では、7月1日(日)～10日(火)の間、通常1500円の「山川海弁当温泉入浴付」の昼食Aプランを1000円にてご提供します。
多くの方のご来場をお待ちしております。

■休館について
「四万十いやしの湯」およびレストラン「山川海」の機械設備点検等のため、6月18日(月)9時～21日(木)15時(レストランは17時まで)の間休館します。

問 四万十いやしの里 ☎(31)5111

第55回 金婚夫婦祝福式典

■主催 高知新聞社、RKC高知放送
高知新聞社会福祉事業団

■日時 9月1日(土) 14時開始

■場所 新口イタルホテル四万十

■資格

昭和37年1月1日から同年12月31日まで
に婚姻届をしている高知県在住のご夫婦
(それ以前の届け出でも初めて申し込む
人は可)。

※事情により婚姻届け出が遅れた人は高知
新聞社 ☎088(825)4328までご
相談ください。

■申込先

〒780-8666(住所不要)

(株)高知新聞企業事業企画部「金婚式」係
6月25日(月)必着

・四万十市役所保健介護課 長寿介護係
6月21日(木)必着

・西土佐総合支所保健課
6月19日(火)必着

■必要書類

・ご夫婦の戸籍抄本(婚姻届の年月日・生
年月日の記入のあるもの、謄本でも可)
・便せんにご夫婦の郵便番号、住所(ふりが
な)、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番
号、結婚記念日を明記してください。

※8月中旬ごろ高知新聞社よりはがきでご
案内があります。



(本 庁)保健介護課 長寿介護係 ☎(34) 1165
問 申 (総合支所)保健課 ☎(52) 1132

知ろう！誇ろう！伝えよう！四国のたから市 in 四万十
SOMETHING NEW 2012

幡多をはじめ四国の地域産品等の物産
市や著名人によるコンサートを通じて、
地域内外から多くの参加者を集客し、本
市で交流を深めようと2つのイベントが
同日に開催されます。

どなたでもお気軽にご参加ください。

日程 6月23日(土)

場所 市立安並運動公園
体育館および体育館隣接駐車場

■知ろう！誇ろう！伝えよう！

四国のたから市 in 四万十

特産品やグルメなど地域の「宝」が大
集合！

時間 11時～17時

■SOMETHING NEW 2012

著名なアーティストによるコンサート！

出演 中西圭三

JAMOSA(ジャモース)

竹内藍

時間 18時～20時(開場:17時)

チケット 前売:3千5百円

当日:4千円

※前売り券は、四万十市観光協会、中村商
工会議所ほかで販売しています。詳し
くは下記までお問い合わせください。



問 (社)中村青年会議所(四万十市中村小姓町46 中村商工会議所内)
☎(34) 2692(平日10時～15時)

市立児童館 夏季キャンプ

児童館では、健全な遊びをとおして、児
童の健康を増進し、心を豊かにすることを
目的にいろいろな活動をしています。今年
も、夏休みの野外活動の一つとして、生涯
学習課と合同で、一泊二日のキャンプを行
います。

目的

①親元から離れた場所での生活を送る
ことで、自立心や、社会性を養う。

②集団生活を送ることで、ルールの大
切さを学び、仲間意識を高める。

期 日 7月26日(木)～27日(金)

場 所 旧竹屋敷小学校

対 象 者 市内在住の小学3年生～中学3
年生

定 員 35人程度

※申込者が多数の場合、抽選を行います。

参加費 無料

申込方法

市立中央公民館と、市立児童館に申込
用紙を配置しているの、必要事項と保
護者の捺印をして、申込期間内に提出し
てください。

※1～3人までのグループ(1組)での申
込込みができます。

申込期間 6月11日(月)～23日(土)

■7月5日ごろに参加
決定通知書と、キャン
プのしおりを郵送し
ます。なお、参加決定
者は、7月14日(土)10
時から市立児童館遊
戯室で、打ち合わせを
行う予定です。



問 市立児童館(火～土曜日の10時～17時に受付) ☎(34) 2232
市立中央公民館(月～金曜日の8時30分～17時15分に受付) ☎(34) 0130

中村養護学校 公開授業ウィーク



小学部 生活単元学習(調理)



中学部 生活単元学習(布紙工)

場 所 県立中村養護学校(古津賀3091)

日 時 6月18日(月)～22日(金)

8時50分～15時30分

(月・水/小学部は14時35分まで)

※みなさんに参観していただくことにより、授業を見直す機会にもしていきたいと考えていますので、アンケート等にもご協力をお願いします。

ぜひ、この機会に学校にお越しください。元気いっぱいの子どもたちが待っています。

中村養護学校は、小学部、中学部、高等部、訪問学級のある特別支援学校(知的障害・肢体不自由)です。児童生徒たちは社会自立に向けて、日々いろいろな学習に取り組んでいます。

子どもたちのことや学校のこと、授業について地域の皆さんに知っていただきたいと考え、学校は常に公開していますが、特に、左記の期間を公開授業ウィークとしています。

問 県立中村養護学校 ☎(34)1511 FAX(34)1625
(担当 西尾・中澤)

しゅすいぜき
ダム・取水堰の放流にご注意

今年も出水期に入り、集中豪雨や台風の発生するシーズンとなりました。

津賀ダム(古味野々ダム)および佐賀取水堰(家地川えん堤)では、これらの出水に備え、設備の点検・整備を行い、事故未然防止に万全を期しています。

ダム・取水堰から放流する場合には、下流の皆さんの安全を守るため、警報車および防災無線(西土佐地域)でお知らせいたしますので、放送などを聞いた時には、

●家族(特に子ども)で川の方へ行っている人はいないか

●河原に干物などおいていないか

●舟は安全な場所につないでいるか

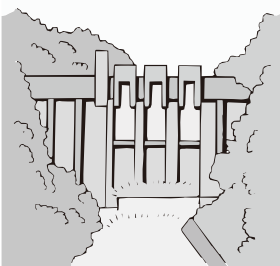
など、今一度確認を行って、水による事故や災害の防止に十分ご留意ください。

また、沈下橋の通行については、特に安全を確認するようお願いいたします。

津賀ダム放流量、佐賀えん堤放流量、昭和測水所水位等の情報は左記の電話番号で放送しています。

■フリーダイヤル

0120(27)5430



問 四国電力株式会社 津賀ダム管理事務所 ☎0880(27)5314
佐賀取水堰管理事務所 ☎0880(22)0069

防衛省 平成24年度各種自衛官採用試験

募集種目	受付期間	1次試験期日	受験資格等	試験会場
自衛官候補生 (男・女) (任期制自衛官)	男子:受付中	9月17日および 9月23日・29日・30日 の内1日	25年4月1日現在 18歳以上27歳未満	四万十市防災センター および高知駐屯地
	女子:8月1日～ 9月7日	9月24日(月)	※任期満了時に特例 退職手当があります。	高知駐屯地
一般曹候補生 (非任期制自衛官)	8月1日～ 9月7日	男女共通 9月17日(月)	25年4月1日現在 18歳以上27歳未満	四万十市 防災センター
航空学生 (パイロット養成)		男女共通 9月22日(土)	25年4月1日現在 18歳以上21歳未満	高知合同庁舎 9階会議室
看護学生 (看護師養成)	9月3日～ 10月1日	男女共通 10月20日(土)	25年4月1日現在 18歳以上24歳未満	高知学芸進学 アカデミー

問 自衛隊四万十地域事務所 ☎(35)3096

※防衛大学校学生および防衛医科大学校学生(25年4月1日現在18歳以上21歳未満)は9月3日～10月1日の間受付を行います。

定期相談所

	日時	場所	相談内容	問い合わせ先
行政相談所	6月20日(水) 13時～16時	社会福祉センター	国や県、市の仕事に対する苦情や要望 《相談委員》武田二三生 ☎(35)6414 正木 卓夫 ☎(37)2560	(本 庁)総務課 ☎(34) 1804
無料農業経営相談 (偶数月第4木曜日開催)	6月28日(木)	JA高知はた 本所 3階	農業に関する借入相談、経営全般に関するお悩みなどの相談 (要事前予約)	日本政策金融公庫 高知支店 農林水産事業 ☎ 088(825)1091

6月実施の統計調査

調査名	調査該当地区
家計調査	右山元町2～3丁目、駅前町、一条通3～5丁目
家計消費状況調査	不明※国主管の調査のため該当地区の詳細は不明です
労働力調査	三ツ又、楠島
毎月勤労統計調査(二種)	西土佐
個人企業経済調査	中村東町、中村於東町、中村新町、中村一条通、中村大橋通

【問い合わせ先】(県)総務部 統計課 ☎ 088(823)9344

国際交流員 劉長生です

りゅう ちょうせい

新たな出会いは心の絆です。よろしくお願いします。

四万十市民の皆さま、こんにちは！

はじめまして、平成24年度の国際交流員の劉長生と申します。どうぞよろしく願っています。

まず、自己紹介させていただきます。私は今までの四万十市国際交流員の中で、中国から15人、安徽省からは5人目となります。

出身は省都の合肥市で、東南大学で日本語科を専攻していました。卒業後、現在の勤務先である安徽三聯学院に就職し、今まで12年余り継続して日本語の教師をしており、その間、広西大学の大学院に入学して、日本語の翻訳と通訳を専攻し、修士課程を修了しました。

四万十市に来る前は、大学講師として大学の1～4学年を対象に、主に「基礎日本語」や「高級日本語」「翻訳」「通訳」などといった科目を担当し、真面目に取り組んでまいりました。

私の家族は中国ではごく普通の核家族です。一人の男の子がおり、今年5歳です。今幼稚園に通っており、妻は同じ大学の日本語学部で日本語を教えています。

次に、四万十市に着いてから、この目と耳で見たり聞いたりして感じたことや、生活についてです。こちらに来てまだ1ヶ月余りですが、本当に楽しく充実した生活を送っております。一番印象深く

感じたのは、空気が非常にきれいだということです。何日間もたつても皮靴などの手入れを怠けてもかまいません。緑いっぱいの山が、澄んだ川と一体になっている様子は、静かで落ち着いた最高です。

そしてまた、多くの市民の皆さまから親切にいただいております。山や川だけでなく、人の気持ちもたいへんきれいだと思惑致しました。



赤鉄橋にて

先日、竹屋敷のあめご祭りや、土佐一條公家行「藤祭り」といった日本伝統文化の感じられるイベントに参加したり、四万十市周辺では大月町、宿毛市などを見物し、土佐清水市では小夏祭りも体験させていただきました。本当に、高知県の悠久たる歴史文化と風光明媚な自然風景を満喫させていただいております。

最後に、今後の仕事への展望についてです。

今回四万十市で交流の仕事に携わることを私は大変嬉しく思います。常に新たな出会いは心の絆だと意識しながら、中日友好交流を目指していきたいです。

この一年間中国語や中国文化を紹介したり、学校訪問をしたりすることを通じて、皆さまに中国への理解を深め、国際意識を高めていただくと同時に、私も沢山の日本の行事などを通して、日本文化をより深く理解したいと考えています。今後可能な限り四万十市民の皆さまと親しく友達になり、お互いに交流して、楽しく過ごしたいと思います。

今年、中日国交正常化40周年の節目に当たり、安徽省と高知県の間だけでなく、中日両国の全ての分野において、さまざまな友好交流イベントが行われるだろうと思います。私も精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしく願っています。

国際交流員は生涯学習課主催の中国語講座の講師や、市内の学校、各種団体に出向いて、市民の異文化理解のための講演や交流活動などを行っています。

中国について興味があり、学習したい団体には、国際交流員を派遣することができます。

【問い合わせ先】
(市)企画広報課 ☎(34)1129

報 告

中村スポーツ少年団
県大会優勝・
全国大会出場決定

4月1日から開催された「第32回全日本学童軟式野球大会高知県予選兼第36回鯉のぼり大会」におきまして、見事87チームの頂点に立ち、8月12日から6日間、東京明治神宮野球場他で全国47都道府県の代表51チームが参加して開催される「高円宮賜杯第32回全日本学童軟式野球大会（マクドナルド・トーナメント）」に高知県代表として出場することになりました。

同大会への出場が決まっただけでは、今までにも増して監督、コーチの熱い指導のもと、「小学生の甲子園」と呼ばれるこの大会での1勝を目標に日々厳しい練習に取り組んでおります。

（投稿：中村スポーツ少年団保護者会）

■団員募集のお知らせ

主に中村南小学校で週3〜4回練習しています。野球に興味のある方は一度見に来てください。



中村JAC
オリンピックポス四万十杯受賞

4月29日に開催された第21回高知県スポーツ少年団総合交流大会で中村JACが、「オリンピックポス四万十杯」を受賞しました。

同杯は西土佐出身の故・横山高史さんをかたどったものです。横山さんは走り高跳びで国体等に出場するなど、陸上競技で活躍しました。現役引退後は西土佐JACを立ち上げ、数多くの選手を指導し、青少年の健全育成や陸上競技の発展に寄与しましたが、一昨年、事故により亡くなりました（享年49歳）。

ご家族と高知県スポーツ少年団のご厚意により、横山さんの功績を称え、後世へその思いを託した優勝杯が創設され、県スポーツ少年団総合交流大会の陸上競技の部総合優秀チームに授与されることになりました。

中村JACは、6種目で優勝したほか、その他各種目において上位入賞という好成績を修めました。



横山さんが現役時代に高飛びのバーを飛び越える姿をかたどったトロフィー。現在、東山小学校にて展示中。



中村JAC(ジュニア・アスリート・クラブ)
第21回 高知県スポーツ少年団総合交流大会
(4月29日開催) 陸上競技の部総合優秀チーム

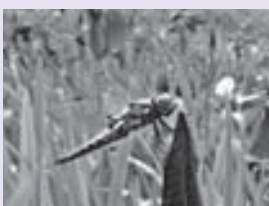
トンボ自然公園
ネーチャーフォト
研究会員募集

（社）トンボと自然を考える会では、会員または、四万十川学遊館年間パスポート所有者を対象としてネーチャーフォト研究会の会員を募集しています。

研究会では、年1〜2回、会員がトンボ自然公園などで撮影した作品を持ち寄って開催する作品展示会を通して、自然環境保全に対する社会の関心向上を目的としています。

トンボ自然公園での撮影の際は、会員の都合に合わせて、現地案内や撮影のアドバイスなどを、（社）トンボと自然を考える会の職員が行い、ウェーダー等、撮影上での必要となる用具についても、適宜貸し出しを行います。

四万十川学遊館セミナー室において本会会員相互の親睦と、撮影技術向上を目的とする勉強会も企画していますので、ぜひご参加ください。



問（社）トンボと自然を考える会

☎（37）4110



(平成24・4・6～平成24・5・5届分)

住所 赤ちゃん 保護者

中村東町	北尾	瞬	弘之
中村東町	乾	柚月	城次
駅前町	所谷	和佳	英
古津賀	徳廣	美桜香	晃
古津賀	武田	花汰	聡平
古津賀	澤近	武生	雄
古津賀	福留	羽琉亜	一也
古津賀	野並	心春	弘章
具同	松澤	春懂	佑樹
具同	菊田	莉央	直紀
渡川	平田	彩心	泰三
渡川	福永	伽央	英世
渡川	藤倉	結衣	大介
具同田黒	松本	俐音	真



(平成24・4・6～平成24・5・5届分)

住所 氏名 享年

中村大橋通	上岡	壽子	99
中村大橋通	右城	雄三	80
中村大橋通	有友	健一	61
中村上小姓町	和田	友照	86
中村一条通	市川	利久	85
中村東町	兼松	郁子	89
不破	岡本	爲喜	87
安並	川西	淳子	80
古津賀	三好	久美子	72
具同	植村	綾子	89
具同	中山	昌彦	67
具同田黒	田村	春子	95
荒川	布	信雄	89
荒川	山口	花子	92
江ノ村	萩	一鹿	85
山崎	山崎	信重	85
山路	鎌田	真一	56
名鹿	宮崎	忠雄	82
下田	山崎	富子	85
下田	筒井	サチエ	86



蕨岡	甲	福本	繁子	88
大西ノ川	中川	三男	84	
西土佐奥屋内	篠田	岩枝	89	
西土佐大宮	尾崎	友則	89	
西土佐大宮	竹葉	鶴子	82	
西土佐江川崎	室津	昭男	61	
西土佐江川崎	五味	モトエ	90	
西土佐江川崎	谷平	達朗	52	
西土佐江川崎	山下	觀三郎	94	
西土佐江川崎	富永	健次	62	
西土佐江川崎	松岡	晴美	89	
西土佐用井	麻田	菊見	84	
西土佐江川	三好	登喜子	88	

「お誕生おめでとう」、「ご冥福をお祈りします」のコーナーへの掲載については、ご家族の希望を聞いて掲載することとしています。
掲載を希望される場合は、
(本庁) 市民課
☎(34) 1113
まで必ずご連絡ください。

人が人らしく

★人権さまさま★ 86

いつか必ずやって来るという南海地震の津波の高さの報道に息をのみました。黒潮町の周辺で34メートルを超えるという「日本沈没ではないか」と呻くしかありませんでした。まったくの素人ではない私などは、他人の言をただ鵜呑みにしてうろするだけの能力しかありません。情けない有り様です。

どうすればいいのだろうか。と、不安に悩む私に一大ヒントを授けてくださったものがあることに気付きました。それは、自分の身近な歴史を学び直すことでした。歴史といえば教科書に出てくる日本史・世界史も大切には違いありませんが、それは学生たちにまかせておくことにし、私の手にしたのは『中村市史』(西土佐村史、大方町史など)です。

(もしもお手元にあるならば開いてみてください。たまげる程膨大な本で、わが家では長いこと本棚の隅で埃をかぶったままになっていました)

中村市史は正・続二巻。正編は昭和39年市制十周年を契機に編纂に着手、昭和44年発刊と当時の長谷川市長の挨拶文にあります。全1206頁。続編は市制30周年記念に、2年数ヶ月かけて編纂、1250余頁。気の遠くな

るような歳月を経て、先人たちの智慧と知識・経験の数々が網羅されています。

全てを一気に読み通すことは仲々ですので、私は両編とも机の上に広げ放しにして折をみては読むことにしています。

今の関心事は、市民たちが災害とどう闘ってきたかということや同和問題を中心にした人権の歴史です。とうの昔に知っていたと思う事柄でも改めて読むと全く新しい出来事として胸に響いてきます。いまの私の最大の愛読書といえます。

中村は大昔から、水害や地震、また大火事などに見舞われた街のようです。いずれの災害もわれわれの暮らしを根こそぎ奪い去って行きました。その度に市民たちはくじ挫けず立ち上がり、明日に向かって生きて来しました。数々の失敗や愚かな間違いもしてきたようでもあります。人権意識も同じです。非の打ち所がなかった訳ではありません。失敗を乗り越えてきたからこそ今日があることを肝に銘じ、過ちを繰り返さないやり方を市史から学ぼうではありませんか。

四十市市人権啓発講師

山本 衛



広報

四万十

6月2012
No.86

■発行/四万十市 ■編集/企画広報課
〒787-8501
高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地

TEL.34-1111(代表) 広聴FAX.0120-459787
URL <http://www.city.shimanto.lg.jp/>
E-mail kouhou@city.shimanto.lg.jp



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



当直医



※当番については変更になる場合がありますので、各医療機関へ事前に電話でお問い合わせください。

6月10日(日)	小原外科胃腸科	☎(35)0108
17日(日)	市民病院	☎(34)2126
24日(日)	木俣病院	☎(34)1211
7月1日(日)	市民病院	☎(34)2126
8日(日)	中村病院	☎(34)3177
15日(日)	市民病院	☎(34)2126
16日(月)	さたけ小児科	☎(37)2255

編集後記

■敷地地区のグラウンド・ゴルフ大会を取材しました。子どもから高齢者までいっしょに楽しめるスポーツでルールも簡単です。健康・体力を維持、増進させることはどの世代においても共通の目標。みなさんも地域ぐるみで始めてみませんか。

(安仁)

■3年目となるディスクドッグゲーム大会の取材。今年は2日間に分かれての開催。2日目は時折強い雨に降られるという状況でしたが、それをものともしないブレイヤーズの演技に見とれてしまいました。ホームページにも写真掲載していますのでぜひご覧ください。

(誉也)

人のうごき ～4月末日現在～ ()内は、前月との差

総人口	35,882人(+29)	転入	327人
男	16,942人(+14)	転出	273人
女	18,940人(+15)	出生	16人
世帯数	16,361戸(+88)	死亡	41人

日直指定水道業者



●水道料金は口座振替で●

6月9日(土)	㈲夕部設備	☎(37)3383
10日(日)	㈲大同設備	☎(35)4879
16日(土)	㈲石井建設	☎(33)0404
17日(日)	㈲山下建設	☎(33)0653
23日(土)	豚座建設㈱	☎(34)6031
24日(日)	㈲平野水道	☎(35)2316
30日(土)	溝渕設備	☎(34)3734
7月1日(日)	森下住宅器機	☎(34)4855
7日(土)	土居水道工事店	☎(32)1095
8日(日)	中村水道工事センター	☎(35)4323
14日(土)	㈱中村住設	☎(34)3621
15日(日)	㈲大杉設備工業	☎(34)2324
16日(月)	㈲福永工業	☎(35)5996

水道の使用を開始・中止するときは…

引っ越しなどで水道の使用を開始、中止または使用者の名義を変更するときは、事前に下記までご連絡をお願いします。

【問い合わせ・連絡先】

(本 庁)水 道 課 ☎(34)1711
(総合支所)産業建設課 ☎(52)1111

第18回 四万十川 ウルトラマラソン

【スタート】 100kmの部 5時30分 市立藤岡中学校前
60kmの部 10時 四万十町こいのぼり公園前
【参加定員】 2000人 100kmの部:1500人 60kmの部:500人

10月21日(日)
開催!

〈ボランティア募集〉

全国からウルトラランナーを迎えるために大会運営にご協力いただけるボランティアスタッフを募集します。

100kmもの長い道のりを走破するには、ボランティアのサポートが絶対に欠かせません。皆さんの力で、完走を目指すランナーを手助けしてください。ご協力をよろしくお願いいたします。

期 間(予定)

10月19日(金)～21日(日)

人 員(予定)

中村地域:1200人
西土佐地域:350人

対 象 者

・原則として中学生以上
・高校生以下の方は親権者の承認が必要
・支給物品(予定)
・スタッフジャンパー
・スタッフマニュアル



(昨年までと同様のため、お持ちの人はご遠慮ください)

・スタッフマニュアル

申 込 方 法

申込期日 6月29日(金)まで
申込方法 下記まで電話、FAX、メールでお申し込みください。

そ の 他

・事故への対応は、主催者側で掛ける保険の範囲内で対応します。
・ボランティアの内容については事務局で決定します。
・場所や時間について希望があればお伝えください。なるべく考慮しますが、希望に添えない場合もあります。
・昨年ご協力いただいた人も再度申し込みをお願いします。
・10月初旬にボランティア説明会を行います。

【問い合わせ・申込先】 四万十川ウルトラマラソン実行委員会事務局

(中村地域)
〒787-0008 四万十市安並4231 市民スポーツセンター内
☎(34)0605 FAX (34)4894
E-mail: sport@city.shimanto.lg.jp

(西土佐地域)
〒787-1603 四万十市西土佐用井1101-5 西土佐ふれあいホール内
☎(52)1110 FAX (52)1446
E-mail: n-culture@city.shimanto.lg.jp

「広報四万十」7月号は7月4日(水)発送予定です

